



市の鳥「フクロウ」

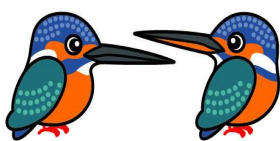
平成26年版

消 防 年 報

(平成27年刊行)



取手市制施行45周年



市の鳥「カワセミ」

取手市消防本部

は し が き

取手市では、安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりのため、更なる飛躍と発展を目指しています。

この年報は、取手市の消防現勢及び平成26年中の統計資料を主に過去の資料と比較対照し、参考資料として広く活用していただくとともに、多くの方々に取手市消防をご理解いただくために編集したものです。

なお、本年報統計は、暦年を以って収録したものですが、これによらないものについては、当該統計の記載している現在日により作成しました。

平成27年7月



取手市消防本部

目 次

概 要

1. 市の沿革 1
2. 市 勢 2
 - (1) 位置・面積 2
 - (2) 消防本部発足後の人口推移 2
3. 取手消防のあゆみ 3～12

総 務

1. 消防組織 13
2. 消防本部事務分掌 14～15
3. 消防署事務分掌 16
4. 消防庁舎
 - (1) 消防本部及び消防署所 17
 - (2) 消防団 18
5. 市予算と消防予算との比較 19
6. 人口及び世帯あたりの消防費 19
7. 消防職員関係
 - (1) 消防職員の配置状況 20
 - (2) 消防職員の階級別勤務年数 21
 - (3) 消防職員の階級別年齢 21
8. 消防団関係
 - (1) 消防団員配置表 22
 - (2) 平成26年中の消防団火災出場状況 23
 - (3) 消防団員の階級別年齢 24
 - (4) 消防団員の報酬及び手当 24
9. 消防機関配置図 25

予 防

1. 危険物規制事務
 - (1) 危険物製造所等の推移 26
 - (2) 危険物製造所等の倍数別数 26
 - (3) 危険物施設の予防査察状況 27
 - (4) 危険物製造所等の事務処理状況 27
2. 消防同意事務
 - (1) 受付・同意・不同意件数 27
 - (2) 工事種別件数 27
3. 予防行政事務
 - (1) 防火対象物（150㎡以上） 28
 - (2) 消防用設備等設置状況 29
 - (3) 防火管理者選任等状況 30
 - (4) 消防用設備等の点検結果報告状況 31
 - (5) 防火対象物の予防査察状況 32
4. 消防関係法令に基づく届出 33

警 防

1. 10年間における火災発生状況 34

2. 火災統計（平成26年1月～12月）	
(1) 火災発生件数	35
(2) 焼損面積	35
(3) 損害額	35
(4) 月別火災発生状況	36
(5) 平成26年火災概況	37～38
(6) 月別・火災種別発生件数	39
(7) 出火時間別件数	39
(8) 火災原因（月別発生状況）	40
(9) 火災原因（時間別発生状況）	40
3. 水利・車両・機械器具関係	
(1) 水利現有数一覧表	41
(2) 消防車両配置状況	42～43
(3) 消防機械器具保有状況	44～47
通信指令	
1. 指令概況	48
2. 施設の概況	48
3. 消防通信	
(1) 消防通信系統図	49
(2) 緊急通報システム	50
(3) 119番受信状況（固定電話）	51
(4) 119番受信状況（携帯電話）	52
(5) 出場指令状況	53
4. 気象	
(1) 月別気象状況	54
(2) 年間気象状況	54
5. 無線局配置状況	55
救急・救助	
1. 救急 署所別事故種別出場件数及び搬送人員	56
2. 救急 曜日別月別出場件数	56
3. 救急 現場到着所要時間別件数	57
4. 救急 医療機関収容所要時間別件数	58
5. 救急 月別出場件数	59
6. 救急 事故種別別年齢別搬送人員	60
7. 救急 程度別搬送人員	61
8. 救急 救急隊員が行った応急処置件数	62
9. 救急 事故種別別収容医療機関	63
10. 救急 署所月別ペア出場件数	64
11. 救急 平成26年5月19日から平成26年9月30日までの熱中症搬送件数	65
11-2 救急 月別発生件数	66
12. 救助 救助出場・活動件数	66
12-2 救助 事故種別救助人員・車両別搬送人員数	66
12-3 救助 救助出動件数	66
消防関係団体	
1. 消防関係団体	67

概要



1. 市の沿革

取手という地名は、戦国時代に大鹿太郎左衛門の砦があったことから名付けられたといわれていますが、平安時代末の11世紀には、伊勢神宮の相馬御厨であったとして取手市周辺がすでに史料に記されており、さらに13世紀になると、稲村、戸頭、高井、大鹿などといった地名も相馬氏の領地として史料に現れはじめます。また、市内からは、中妻貝塚や向山貝塚などといった縄文時代の遺跡をはじめ、旧石器時代から奈良・平安時代にかけての遺跡が78カ所も発見されており、古くから人々の生活の地であったことがわかります。

水戸街道が天和・貞享年間（1681～1688）につけ替えられると、取手村は北相馬地方の中心を担う宿場町として発展しました。その名残は、今でも取手宿本陣にみるることができます。その頃になると、利根川を利用した水運も盛んになり、戸頭・取手・小堀には河岸が設けられ、特に小堀は荷物の積み換え河岸として栄えました。

その一方で、利根川や小貝川に面していた取手市域は、度重なる水害に悩まされました。特に、吉田、青柳などは低地のため被害も大きく、今でもこの地に残る水屋が当時の水との戦いを物語っています。

明治維新を迎えると、明治4年の廃藩置県によって市域は印旛県に属し、さらに明治6年には千葉県に、そして、明治8年には茨城県に編入されました。また、明治18年の地積編成によって取手宿と大鹿村が合併して取手村となり、明治22年には市制町村制の施行により、取手町（取手村・台宿村）、寺原村（寺田村・桑原村）、井野村（長兵衛新田・青柳村・吉田村・小堀村・井野村）、稲戸井村（稲村・野々井村・米ノ井村・戸頭村）、高井村（上高井村・下高井村・貝塚村・市之代村・同地村）、小文間村の1町5ヵ村が誕生しました。

その後、昭和22年には、井野村と取手町が合併して取手町となり、さらに昭和30年2月には町村合併促進法により、取手町・寺原村・稲戸井村・高井村・小文間村が合併して新しい取手町が誕生しました（高井村のうち同地村は、守谷町に合併）。

その後、昭和40年代の高度経済成長期には、首都圏近郊都市として、県下初の日本住宅公団による住宅団地の開発や民間による宅地開発、及び民間大手企業の進出により人口が急増し、昭和45年10月には県内17番目の市制を施行し取手市が誕生しました。

昭和50年代に入ってから、住宅・都市整備公団による戸頭団地をはじめとした宅地開発が進み、その一方で、それらに対応した都市基盤の整備にも力が注がれました。昭和57年11月には地下鉄千代田線の取手駅までの相互乗り入れが開始され、同年12月には関東鉄道常総線の複線化が完成するなど、首都圏からの南の玄関口として発展してきました。

昭和60年代から平成にかけては、取手駅周辺地区の開発や東京芸術大学取手校が開校、後に先端芸術表現科が開設されたことを契機に、市民・大学・行政が一体となってまちづくりを進め、文化創造・発信の地となるよう様々な事業を展開してきました。

平成17年3月28日には、取手市・藤代町が合併し新たな歴史の扉が開かれました。

首都圏の近郊都市として、また利根川や小貝川の恵まれた河川空間を活かし、自然と共生したまちづくりを進めています。

2. 市 勢

(1) 位置・面積



位置	東 経	1 4 0 度 0 3 分
	北 緯	3 5 度 5 4 分
面 積	6 9 . 9 4 k m ²	
海 抜	2 1 . 0 m	
東 西	1 4 . 3 k m	
南 北	9 . 3 k m	

(2) 消防本部発足後の人口推移

(各年4月1日現在)

区分 年	世帯数	人 口			備 考
		総 数	男	女	
昭和43年	8, 094	30, 686	15, 218	15, 468	消防本部(署) 発足
昭和50年	14, 977	52, 452	26, 500	25, 952	戸頭分署開署
昭和56年	21, 617	74, 124	37, 187	36, 937	吉田分署開署
平成 元年	25, 266	81, 141	40, 517	40, 624	消防本部(署) 新庁舎竣工
平成11年	30, 035	83, 650	41, 795	41, 855	戸頭分署を戸頭 消防署に昇格
平成13年	30, 282	82, 396	41, 135	41, 261	吉田分署を吉田 消防署に昇格
平成17年	42, 459	113, 184	56, 176	57, 008	3月28日合併により、 桐木消防署・宮和田 消防署が編入する。
平成22年	44, 517	110, 694	54, 997	55, 697	消防署の組織改編に伴い 宮和田消防署が桐木消防 署宮和田出張所になる。
平成26年	46, 047	109, 392	54, 139	55, 253	
平成27年	46, 648	109, 184	54, 096	55, 088	

3. 取手消防のあゆみ

年	主 な で き ご と
明治19年	茨城県令（消防規則）の発令により、公認消防として発足する。
明治27年	「取手町消防組」が組織され、第一部（新町）、第二部（上町）、第三部（仲町）、第四部（片町）、第五部（台宿）が編成され、初代組頭に寺田文四郎氏就任する。
大正11年	消防組第二部に、町内募金により「手曳ガソリンポンプ」を購入配置する。
昭和14年	警防団令の公布により「消防組」を「警防団」と改め、第何部と呼称する「部」を「分団」と変更し、組頭を団長、部長を分団長、小頭を班長、組員を警防員と改め、法被が黒襟国防色団服と戦闘帽に全国統一された。 初代警防団長に海老原與重郎氏就任する。
昭和18年	警防団長海老原與重郎氏辞任し、後任に宇田川源次郎氏就任する。 防空・警報伝達等の関係から第5分団（台宿）管轄区域を分離し、第7分団（新道）を設け一部改編した。
昭和19年	戦時金属類非常回収令により、鉄製火の見櫓を撤去し供出する。また、戦時下の東京防衛のため消防ポンプ車等も強制供出される。
昭和20年	5月14日 戦争が熾烈になるのに伴い、防空全般に対する態勢強化のため警防団に本部制を新設、初代本部長兼副団長に飯田喜三郎氏就任する。 8月20日 第二次世界大戦（大東亜戦争）終結により、灯火官制の解除及び警防団の夜警出動を縮小軽減する。
昭和22年	3月15日 取手町と井野村の合併により、旧井野村警防団5個分団が併合され、取手町警防団は12個分団となる。 4月30日 消防団令が公布され、警防団が消防団に改組された。 9月20日 取手小学校において、取手町消防団結団式举行される。 初代消防団長に宇田川源次郎氏、副団長に飯田喜三郎氏、天津勝太郎氏就任する。
昭和23年	3月 7日 消防組織法（昭和22年12月23日公布）施行される。
昭和24年	8月20日 非常事態宣言の場合における警察と消防団の応援協定が成立する。
昭和25年	2月 消防副団長天津勝太郎氏逝去により辞任する。 8月 7日 高須村（旧藤代町）地先小貝川右岸堤防決壊、利根川本流の水防警備以来80余時間後に高須村大留地先小貝川堤防が約90m決壊するも当町消防団は他町村消防団の応援を得て、迅速果敢な行動により、新道火の見下より吉田土手に至る約400mの区間に水防工法を施し、被害を最小限度に食い止めた。

昭和27年	2月10日 消防団長宇田川源次郎氏辞任し、第2代消防団長関谷二郎氏就任する。 5月9日 第1回全国消防大会開催される。(於：東京両国元国技館跡)
昭和30年	2月15日 第16回通常国会において議決された全国市町村合併問題に関連して、高井村の一部と稲戸井・寺原・小文間の3个村が取手町に合併する等、北相馬23町村は、取手・守谷・藤代・利根の4町となり、消防態勢も大きく改編された。 消防団に支団を新設する。 ○ 取手町消防団長 関谷二郎氏 12個分団 ・ 高井支団長 関根精市氏 4個分団 ・ 稲戸井支団長 長塚敏郎氏 4個分団 ・ 寺原支団長 岡田 亮氏 5個分団 ・ 小文間支団長 根本信平氏 5個分団 ※ 本支分団計 30個分団 団員1,125名 その後整理統合され、26個分団となる。
昭和31年	5月12日 消防副団長飯田喜三郎氏辞任する。 5月19日 消防副団長に海老原光氏就任する。 7月14日 関東一都六県水防演習実施 (於：取手町地先利根川左岸堤防)
昭和35年	4月1日 第2代消防団長関谷二郎氏辞任し、第3代消防団長に海老原光氏、副団長に加藤正男氏、海老原正男氏就任する。
昭和38年	4月1日 消防団副団長海老原正男氏辞任し、後任に笠川米吉氏就任する。
昭和42年	消防組織法に基づき、常備消防設置の政令指定を受ける。
昭和43年	4月1日 消防本部及び消防署発足する。初代消防長(事務取扱)に中村金左衛門町長が就任する。 ○ 消防職員定数 25名 ○ 消防ポンプ車 1台 ○ 指令車 1台 6月3日 初代消防署長に平井淳氏就任する。 6月30日 第3代消防団長海老原光氏辞任する。 7月1日 取手町消防本部、消防署庁舎竣工、業務開始 本部次長に海老原光氏就任する。 消防職員定数38名 7月5日 消防本部、消防署庁舎竣工式典実施する。

昭和44年	<p>1月7日 第4代消防団長に加藤正男氏就任する。</p> <p>3月1日 救急車（東消式A級）を配置する。</p> <p>7月22日 消防団副団長に霜多義夫氏就任する。</p> <p>9月29日 普通ポンプ車を配置する。</p>
昭和45年	<p>10月1日 市制執行（北相馬郡取手町から取手市へ） 初代市長に中村金左衛門氏就任する。</p> <p>12月1日 初代消防長中村金左衛門氏辞任し、第2代消防長に海老原光氏就任する。</p>
昭和46年	<p>3月14日 第2代市長に海老原一雄氏就任する。</p> <p>7月14日 関東一都六県水防演習実施（於：取手市地先利根川左岸堤防）</p> <p>10月1日 消防職員定数54名</p> <p>12月1日 屈折梯子付消防ポンプ自動車を配置する。</p> <p>12月15日 査察広報車を配置する。</p>
昭和47年	<p>5月23日 普通ポンプ車を配置する。（日本損害保険協会寄贈）。</p> <p>6月30日 第2代消防長海老原光氏辞任する。 第4代消防団長加藤正男氏辞任する。</p> <p>7月1日 第3代消防長に加藤正男氏就任する。 第5代消防団長に笠川米吉氏就任する。</p>
昭和48年	<p>4月1日 消防長加藤正男氏、消防署長（第2代）を兼務する。</p> <p>10月1日 救急車（キャブ型）を配置する。 消防職員定数64名</p>
昭和49年	<p>3月29日 指令車を配置する。</p> <p>4月1日 第3代消防署長に川田操氏就任する。</p>
昭和50年	<p>10月1日 取手市消防署戸頭分署庁舎竣工式典実施し、業務開始する。 ○ポンプ自動車 1台 ○救急車 1台</p> <p>10月12日 取手市消防団第1回消防ポンプ操法競技大会が開催され、以後毎年開催されている。</p>
昭和51年	<p>3月31日 第5代消防団長笠川米吉氏辞任する。</p> <p>4月1日 第6代消防団長に霜多義夫氏就任する。</p> <p>5月1日 消防団本部員制度を発足し、当市消防団の幹部組織の充実を図る。 本部員に岡田重信氏、田辺好映氏、古谷治一郎氏就任する。</p>
昭和52年	<p>2月25日 消防長加藤正男氏、消防署長（第4代）を兼ねる。</p> <p>4月1日 消防職員定数76名</p> <p>8月10日 茨城県総合防災訓練実施（於：取手市地先利根川左岸堤防）</p> <p>11月19日 本署に指令車を更新配置する。</p>

昭和53年	<p>3月15日 戸頭分署に水槽付ポンプ車を配置する。 第6分団に普通ポンプ車配置する。</p> <p>3月30日 戸頭分署に指令車を配置する。</p> <p>4月 1日 消防職員定数81名</p> <p>6月 1日 本部に小型動力ポンプ（2台）を配置する。</p> <p>10月12日 第1分団に普通ポンプ車を配置する。</p> <p>11月 7日 戸頭分署に救急車（キャブ型）を配置する。</p> <p>12月22日 本署に普通ポンプ車を更新配置する。</p> <p>12月28日 本署に査察広報車を更新配置する。（取手ガス(株)寄贈）</p>
昭和54年	<p>4月22日 第3代市長に菊地勝志郎氏就任する。</p> <p>6月 1日 第3代消防長加藤正男氏辞任する。</p> <p>6月 4日 消防長事務取扱に市長菊地勝志郎氏（第4代）就任する。</p> <p>9月14日 消防本部内に取手市消防友の会が発足する。 ※ 戦前・戦後を通じての警防団，消防団そして消防本部の要職歴 任者を以て結成する。 会員数18名</p> <p>12月 5日 第5代消防長に鈴木啓一氏就任する。</p> <p>12月20日 第7分団・第26分団に普通ポンプ車を配置する。</p> <p>12月22日 第8分団に普通ポンプ車を配置する。</p>
昭和55年	<p>3月26日 本署に化学車を配置する。</p> <p>8月29日 第21分団に普通ポンプ車を配置する。</p> <p>10月24日 戸頭分署に普通ポンプ車を更新配置する。</p> <p>11月26日 本署に救急車（キャブ型）を更新配置する。</p>
昭和56年	<p>3月27日 本署に査察広報車を更新配置する。（取手ガス(株)寄贈） 吉田分署に救急車（キャブ型）を配置する。（中村基光氏寄贈）</p> <p>4月 1日 消防職員定数100名 吉田分署開署 ○ 水槽付ポンプ車 1台 ○ 救急車 1台</p> <p>4月15日 取手市消防署吉田分署庁舎竣工式典実施する。</p> <p>7月11日 関東一都六県水防演習実施（於：取手市地先利根川左岸堤防）</p> <p>9月28日 第10・第19・第23分団に小型ポンプ積載車を配置する。 （五カ年整備計画初年度）</p> <p>11月 1日 戸頭分署に水槽付ポンプ車を更新配置する。（日本損害保険協会寄贈）</p> <p>11月10日 第5分団に普通ポンプ車を配置する。</p> <p>12月26日 本署に広報用ワゴン車を配置する。</p>

昭和57年	<p>4月 1日 吉田分署に普通ポンプ車を配置する。 消防職員定数109名</p> <p>7月 1日 第3分団に普通ポンプ車を配置する。</p> <p>12月 18日 第4分団に水槽付ポンプ車を配置換えする。</p> <p>12月 27日 第11・第17・第24分団に小型ポンプ積載車を配置する。</p>
昭和58年	<p>3月 1日 消防長鈴木啓一氏，消防署長事務取扱い（第7代）を兼務する。</p> <p>7月 7日 吉田分署に災害用資機材搬送車を配置する。</p> <p>12月 22日 本署に普通ポンプ車を更新配置する。</p>
昭和59年	<p>2月 18日 第14・第16・第20分団に小型ポンプ積載車を配置する。</p> <p>3月 1日 茨城県メディカルセンター業務の救急病院選択ディスプレイ機器を設置し，運用開始する。</p>
昭和60年	<p>3月 1日 茨城県防災行政無線（無線電話・ファクシミリ）を設置運用開始する。</p> <p>3月 1日 国際科学技術博覧会開催に伴い，科学万博消防署（筑南広域行政事務組合消防本部）に職員3名を派遣する。（9月30日まで）</p> <p>3月 6日 消防本部・消防団消防庁長官表彰旗が授与される。</p> <p>3月 11日 第12・第15・第18分団に小型ポンプ積載車を配置する。</p> <p>10月 1日 戸頭分署に救急車（2B型）を更新配置する。 （国際科学技術博覧会協会寄贈）</p>
昭和61年	<p>2月 17日 第22分団・第25分団に小型ポンプ積載車を配置する。</p> <p>5月 28日 本署に指令車を更新配置する。</p> <p>7月 12日 関東一都六県水防演習実施（於：取手市地先利根川左岸堤防）</p> <p>11月 30日 第19分団に小型ポンプ（B3級）を更新配置する。</p>
昭和62年	<p>8月 1日 本署に電源照明車を配置する。（日本消防協会寄贈）</p> <p>10月 5日 第2分団に普通ポンプ自動車を更新配置する。</p> <p>12月 1日 第23分団に小型ポンプ（B3級）を更新配置する。</p>
昭和63年	<p>3月 31日 第5代消防長鈴木啓一氏辞任する。</p> <p>4月 1日 消防長事務取扱いに市長菊地勝志郎氏（第6代）就任する。 消防職員定数119名</p> <p>6月 29日 消防団副団長岩田祐一氏逝去により辞任する。</p>
昭和64年 平成元年	<p>1月 1日 第7代消防長に鈴木登氏就任する。</p> <p>1月 8日 元号が昭和から平成になる。</p> <p>2月 1日 消防本部の組織改編により警防課を新設する。</p> <p>3月 17日 消防本部（署）新庁舎仮開署，業務開始する。 本署に救急車（2B型）を更新配置する。</p> <p>3月 25日 消防本部（署）新庁舎竣工式典実施する。 消防緊急情報システム（Ⅱ型）を運用開始する。</p> <p>4月 1日 消防本部（署）の機能を新庁舎へ移転し業務開始する。</p> <p>8月 1日 本署に指令車を更新配置する。</p>

平成2年	<p>8月28日 第6代消防団長霜多義夫氏逝去により辞任する。</p> <p>9月14日 第7代消防団長に海老原功氏就任する。</p> <p>10月18日 本署に査察広報車を更新配置する。</p>
平成3年	<p>3月16日 第13分団に普通ポンプ自動車を更新配置する。</p> <p>3月28日 本署に救助工作車(Ⅱ型)を配置する。</p> <p>5月18日 関東一都六県水防演習実施 (於: 取手市地先利根川左岸堤防)</p> <p>6月1日 65歳以上の独居老人を対象に緊急情報システム運用開始する。</p>
平成4年	<p>2月17日 本署に広報用ワゴン車を更新配置する。</p> <p>3月13日 本署に梯子付消防ポンプ自動車(35m)を更新配置する。</p> <p>3月20日 第9分団に普通ポンプ自動車を更新配置する。</p> <p>3月25日 吉田分署に救急車(2B型)を更新配置する。</p> <p>4月1日 消防職員定数130名</p>
平成5年	<p>3月1日 戸頭分署に普通ポンプ自動車を更新配置する。</p> <p>3月15日 本署に化学車(Ⅱ型)を更新配置する。</p> <p>3月22日 第6分団に普通ポンプ自動車を更新配置する。</p> <p>8月18日 本署に救急車(2B型)を配置する。(日本消防協会寄贈)</p> <p>8月20日 吉田分署に指令車を更新配置する。</p> <p>12月12日 第24分団に小型ポンプ(B3級)を更新配置する。</p>
平成6年	<p>2月1日 第1分団に普通ポンプ自動車を更新配置する。</p> <p>3月18日 戸頭分署に救急車(2B型)を更新配置する。</p> <p>4月1日 日本消防協会に消防司令補1名を派遣する。(平成8年3月まで)</p>
平成7年	<p>1月21日 阪神・淡路大震災の発生に際し、救助支援活動のため神戸市灘区へ救助工作車1台、救助隊員5名を派遣する。</p> <p>2月18日 吉田分署に水槽付ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置する。</p> <p>3月6日 吉田分署に普通ポンプ自動車を更新配置する。</p> <p>3月9日 第4分団に普通ポンプ自動車を更新配置する。</p> <p>4月26日 第4代市長に大橋幸雄氏就任する。</p> <p>7月15日 本署に水難救助用マリッジット(水中探知機付)を配備する。 (取手市危険物安全協会設立30周年記念寄贈)</p> <p>12月7日 第7分団・第26分団に普通ポンプ自動車を更新配置する。</p>
平成8年	<p>2月16日 本署に高規格救急車を配置する。</p> <p>2月22日 戸頭分署に水槽付ポンプ車(Ⅱ型)を更新配置する。</p> <p>3月29日 本署に指揮車を配置する。</p> <p>3月31日 第7代消防長鈴木登氏辞任する。</p> <p>4月1日 第8代消防長に助工嘉一氏就任する。</p> <p>5月7日 市役所敷地内に耐震性貯水槽を設置する。 (飲料水兼用100m³型)</p> <p>5月18日 関東一都六県水防演習実施 (於: 取手市地先利根川左岸堤防)</p> <p>11月14日 吉田分署敷地内に水防防災機材備蓄庫を建設する。</p> <p>12月3日 第21分団に普通ポンプ自動車を更新配置する。</p>

平成9年	<p>3月12日 本署に普通ポンプ自動車を更新配置する。</p> <p>3月19日 戸頭公園内に耐震性貯水槽を設置する。 (飲料水兼用100m³型)</p> <p>4月1日 茨城県立消防学校に講師として消防司令補1名を派遣する。 (平成11年3月まで) 茨城県生活環境部消防防災課に消防士長1名を派遣する。 (平成10年3月まで)</p> <p>10月28日 第5分団に普通ポンプ自動車を更新配置する。</p>
平成10年	<p>3月25日 小文間小学校敷地内に耐震性貯水槽を設置する。 (飲料水兼用100m³型)</p> <p>3月31日 第8代消防長助工嘉一氏辞任する。</p> <p>4月1日 第9代消防長に中村晃氏就任する。 日本防火協会に消防司令補1名を派遣する。(平成11年3月まで)</p> <p>11月9日 第3分団に普通ポンプ自動車を更新配置する。</p> <p>11月26日 第8分団に普通ポンプ自動車を更新配置する。</p>
平成11年	<p>4月1日 取手市消防本部及び消防署所の設置に関する条例の一部を改正し、取手市消防署を取手消防署に名称変更し、取手市消防署戸頭分署を戸頭消防署に昇格し、取手市消防署吉田分署を取手消防署吉田分署に名称変更した。1本部2署1分署となる。</p> <p>4月1日 茨城県防災航空隊に消防司令補1名を派遣する。(平成13年3月まで) 茨城県防災情報システム設置運用開始。</p> <p>5月23日 取手署に査察車を配置する。(取手市防火協会寄贈)</p> <p>8月1日 取手署に資機材搬送車を更新配置する。</p> <p>9月30日 台湾大地震に伴い、調査隊3名を現地へ派遣する。</p> <p>12月22日 障害者に対する119FAX通報受信装置設置運用開始する。</p> <p>12月31日 コンピュータ西暦2000年問題特別警戒実施。</p>
平成12年	<p>3月5日 吉田分署に高規格救急車を配置する。</p>
平成13年	<p>3月31日 第9代消防長中村晃氏辞任する。</p> <p>4月1日 第10代消防長に金田亮氏就任する。</p> <p>6月19日 関東一都六県水防演習実施 (於：取手市地先利根川左岸堤防)</p> <p>10月1日 取手市消防本部及び消防署所の設置に関する条例の一部を改正し、取手消防署吉田分署を吉田消防署に昇格した。1本部3署となる。</p>
平成14年	<p>4月1日 消防本部の組織改編により指令課を新設する。</p>

平成15年	<p>4月 1日 茨城県防災航空隊に消防士長1名を派遣する。(平成18年3月まで)</p> <p>4月28日 第5代市長に塚本光男氏就任する。</p> <p>6月30日 第10代消防長金田亮氏辞任する。</p> <p>7月 1日 第11代消防長に永田栄氏就任する。</p>
平成16年	<p>1月28日 戸頭消防署に高規格救急車を配置する。</p> <p>4月 1日 茨城県立消防学校に講師として消防司令補1名を派遣する。 (平成18年3月まで)</p>
平成17年	<p>3月28日 取手市・藤代町が合併する。 合併により藤代北消防署を櫛木消防署、藤代南消防署を宮和田消防署に名称変更する。 消防職員定数195名</p> <p>3月31日 第11代消防長永田栄氏辞任する。</p> <p>4月 1日 第12代消防長に中村治氏就任する。</p>
平成18年	<p>5月20日 第55回利根川水系連合水防演習実施(於:取手市地先利根川左岸堤防)</p>
平成19年	<p>3月 8日 取手消防署に高規格救急車を更新配置する。 取手消防署高規格救急車更新に伴い、宮和田消防署に取手消防署旧高規格救急車を配置替えする。</p> <p>3月31日 第7代消防団長海老原功氏辞任する。</p> <p>4月 1日 第8代消防団長に海老原茂氏(第二団長)就任する。 日本消防協会に消防司令補1名を派遣する。(平成21年3月まで) 総務省消防庁に消防士長1名を派遣する。(平成21年3月まで) 災害重機機動隊を発足する。</p> <p>4月27日 第6代市長に藤井信吾氏就任する。</p>
平成20年	<p>3月 1日 戸頭消防署に指令車を更新配置する。(日本消防協会寄贈)</p>
平成21年	<p>2月 取手市財政運営緊急対応指針が示され、消防署の統廃合が位置づけられる。</p> <p>3月31日 第12代消防長中村治氏辞任する。</p> <p>4月 1日 第13代消防長に羽田忠夫氏就任する。 茨城県立消防学校に講師として消防司令補1名を派遣する。 (平成23年3月まで) 日本消防協会に消防士長1名を派遣する。(平成22年3月まで) 総務省消防庁に消防士長1名を派遣する。(平成22年3月まで)</p> <p>4月17日 取手市行政改革推進本部会議において、取手市消防体制再編計画案が協議され、宮和田消防署の統廃合を明記する。</p> <p>4月21日 取手市行政改革推進委員会に、宮和田消防署の統廃合について諮問する。</p> <p>6月27日 宮和田消防署の統廃合について、宮和田地区の7会場で説明会を開催する。(期間:6月27日~7月11日)</p>

<p>平成22年</p>	<p>2月 7日 第19分団に小型ポンプ積載車を更新配置する。</p> <p>2月21日 第16分団に小型ポンプ積載車を更新配置する。 (総務省より救助資機材搭載型車両を無償貸付)</p> <p>3月28日 宮和田消防署に高規格救急車を更新配置する。</p> <p>3月31日 第8代消防団長海老原茂氏辞任する。</p> <p>4月 1日 第9代消防団長に猪瀬彰氏就任する。</p> <p>4月 1日 取手市消防本部及び消防署等の設置に関する条例の一部を改正し、 宮和田消防署を櫛木消防署宮和田出張所に組織を改編する。 1本部4署1出張所となる。</p> <p>5月21日 取手市消防団環境整備計画検討委員会設置する。</p>
<p>平成23年</p>	<p>3月16日 第11分団に小型ポンプ積載車を更新配置する。</p> <p>3月29日 3月1日に発生した東日本大震災に際し、緊急消防援助隊として派遣 要請を受け、救急隊3名、支援隊2名を茨城県隊として、第2次から第 4次及び第6次の4回、計20名の職員を福島県に派遣する。</p> <p>3月31日 取手消防署に水難救助用ボート(アキレス社製)を新規配備する。</p> <p>4月 1日 取手市消防団条例(昭和39年条例第20号)及び取手市消防団規則 (昭和30年規則第4号)の全部を改正する。</p> <p>4月 1日 茨城県防災航空隊に消防司令補1名を派遣する。(平成26年3月まで)</p> <p>5月21日 取手市で開催予定の第60回利根川水系連合水防演習が、東日本大震災 の影響により中止となる。</p> <p>7月 4日 取手市消防団環境整備計画に伴い、第22, 23分団へ普通ポンプ自動 車を配置する。</p>
<p>平成24年</p>	<p>3月17日 第10分団に小型ポンプ積載車を更新配置する。</p> <p>4月 1日 取手市消防団環境整備計画に伴い、第22, 23分団が統合し 第22分団となる。</p> <p>12月27日 櫛木消防署に高規格救急車を更新配置する。</p>
<p>平成25年</p>	<p>3月 1日 取手消防署に重機及び重機搬送車を配置する。 (総務省より救助資機材搭載型車両を無償貸付)</p> <p>3月31日 第17分団に小型ポンプ積載車を更新配置する。</p> <p>3月31日 第13代消防長羽田忠夫氏辞任する。</p> <p>4月 1日 第14代消防長に北澤達也氏就任する。</p> <p>4月 1日 取手市消防団環境整備計画に伴い、第21, 24分団が統合し 第21分団となる。</p> <p>12月16日 取手消防署に化学車II型を更新配置する。</p>

平成26年	<p>3月20日 第22分団に普通ポンプ自動車を更新配置する。</p> <p>5月 7日 消防車両国際援助事業に伴い、公益財団法人 日本消防協会へ化学車（旧宮和田1号車）を寄贈する。</p> <p>7月 9日 梶木消防署に水難救助用ゴムボート（ジョイクラフト社製）を更新配置する。</p> <p>9月 3日 取手消防署特別救助隊に大型油圧救助器具（ホルマトロ社製）を更新配置する。</p>
平成27年	<p>3月13日 吉田消防署に高規格救急車を更新配置する。</p> <p>3月23日 第14分団・第20分団に小型ポンプ積載車を更新配置する。</p> <p>3月26日 取手消防署に水難救助用ボート（マリンジェット）を更新配置する。</p> <p>3月27日 吉田消防署耐震補強大規模改修工事完了。</p> <p>3月31日 第9代消防団長猪瀬彰氏辞任する。</p> <p>4月 1日 第10代消防団長に佐久間隆一氏就任する。</p>

H27年5月 9日 消防車両国際援助事業に伴い、公益財団法人 日本消防協会へ高規格救急車（旧救急取手2号車）を寄贈する。

総務



2. 消防本部事務分掌

総務課

(庶務係)

1. 課の庶務に関する事。
2. 文書の收受及び発送に関する事。
3. 消防広報及び各種統計に関する事。(他課の主管に属さないものに限る。)
4. 消防の組織、人事及び企画調整に関する事。
5. 消防職員の服務及び教養訓練計画に関する事。
6. 消防職員の表彰に関する事。
7. 消防職員の福利厚生に関する事。
8. 公印の管理に関する事。
9. 消防諸規定の制定、改廃に関する事。
10. 消防予算に関する事。
11. 消防職員委員会に関する事。
12. 他課の主管に属さない事。

(施設装備係)

1. 消防の基本的な重要施策の計画策定に関する事。
2. 公有財産の管理に関する事。
3. 消防職員及び消防団員の給貸与品に関する事。
4. 消防職員及び消防団員の公務災害補償に関する事。
5. 消防防災施設、設備等整備補助事業等に関する事。

(消防団係)

1. 消防協会及び消防友の会に関する事。
2. 消防団員の服務に関する事。
3. 消防団員の福利厚生に関する事。
4. 消防団員の表彰に関する事。
5. 消防団員の各種会議に関する事。
6. 消防団員の教養訓練計画に関する事。

予防課

(予防係)

1. 課の庶務に関する事。
2. 文書の收受及び発送に関する事。
3. 火災予防の普及広報及び統計に関する事。
4. 建築物確認の同意に関する事。
5. 消防用設備等の指導及び検査に関する事。
6. 防火対象物の査察計画及び指導に関する事。
7. 消防設備士の指導及び育成に関する事。
8. 防火管理者及び消防計画の指導教養に関する事。
9. 火災予防条例による使用開始、設備設置等の届出及び検査に関する事。
10. 防火団体の指導及び育成に関する事。

(危険物係)

1. 危険物製造所等の許認可及び検査に関する事。
2. 危険物製造所等の査察計画及び指導に関する事。
3. 火災予防条例による危険物等の届出及び検査に関する事。
4. 液化石油ガス販売事業に関する事。
5. 圧縮アセチレンガス等に関する事。
6. 危険物取扱者の指導及び育成に関する事。
7. 危険物製造所等の予防規程に関する事。
8. 防火安全協会の事務に関する事。

警 防 課

(警防係)

1. 課の庶務に関する事。
2. 文書の收受及び発送に関する事。
3. 水火災等の報告及び統計に関する事。
4. 水火災等の災害対策及び警戒防ぎよに関する事。
5. 火災調査及び諸証明に関する事。
6. 消防計画に関する事。
7. 開発行為に関する事。
8. 消防の相互応援協定に関する事。
9. 消防車両及び特殊車両の整備保全に関する事。
10. 消防装備品等の配備計画及び運用に関する事。
11. 消防水利の設置及び管理保全に関する事。

(救急救助係)

1. 救急救助の統計及び教養訓練計画に関する事。
2. 救急救助の対策及び運用に関する事。
3. 救急救助の普及広報に関する事。
4. 救急医療機関との連絡調整に関する事。
5. 消防職員の感染防止対策に関する事。
6. 救急車両, 救急資器材及び救助資機材等の整備保全に関する事。
7. 応急手当普及啓発活動に関する事。

指 令 課

(第一指令係)

(第二指令係)

1. 課の庶務に関する事。
2. 文書の收受及び発送に関する事。
3. 災害出場及び通信統制に関する事。
4. 消防緊急情報システムの管理運用に関する事。
5. 関係機関への連絡及び出動に関する事。
6. 緊急医療情報に関する事。
7. 火災警報及び消防信号に関する事。
8. 消防無線及び防災行政無線に関する事。
9. 通信技術の指導教養に関する事。
10. その他通信業務に関する事。

3. 消防署事務分掌

- (庶務係)
1. 係の総括に関する事。
 2. 文書の收受及び発送に関する事。
 3. 公印の管守に関する事。
 4. 消防職員の教養訓練及び服務に関する事。
 5. 消防職員の福利厚生に関する事。
 6. 消防団員の教育訓練に関する事。
 7. 庁舎及び車両等の管理保全に関する事。
 8. 消防用備品等の管理保全に関する事。
 9. 他の主管に属さない事。
- (消防係)
1. 水・火災等の予防、警戒に関する事。
 2. 水・火災等の防ぎよ活動に関する事。
 3. 地理、水利等の調査に関する事。
 4. 水利施設等の保守管理に関する事。
 5. 消防対象物等の警防計画に関する事。
 6. 消防対象物の調査に関する事。
 7. 火災予防条例の届出に関する事。
- (予防係)
1. 火災予防の普及広報に関する事。
 2. 防火対象物等立入検査に関する事。
 3. 住宅防火対策に関する事。
 4. 一人暮らし老人の調査に関する事。
 5. 空地、空家等の火災予防対策に関する事。
 6. 火災統計に関する事。
 7. 火災等の調査及び諸証明に関する事。
 8. 自主防災組織の訓練指導に関する事。
 9. 圧縮アセチレンガス等の届出に関する事。
- (救急係)
1. 救急活動に関する事。
 2. 救急統計に関する事。
 3. 救急隊員の教養訓練に関する事。
 4. 救急医療機関との連絡調整に関する事。
 5. 消防職員の感染防止対策に関する事。
 6. 救急車両及び救急用資機材の管理保全に関する事。
 7. 応急手当普及啓発活動及び指導に関する事。
 8. 救急業務に係る広報に関する事。
- (救助係)
1. 救助活動に関する事。
 2. 救助統計に関する事。
 3. 救助隊員の教養訓練に関する事。
 4. 梯子車対象物等特殊建物の調査及び対策に関する事。
 5. 水難救助・水防等の災害活動対策に関する事。
 6. 救助車両及び救助用資機材の管理保全に関する事。
 7. 救助業務に係る広報に関する事。

4. 消防庁舎

(1) 消防本部及び消防署所

【取手市消防本部・取手消防署】

所在地 取手市井野1264番地1
TEL 0297-74-0119 FAX 0297-74-0155
E-mail torisyo@city.toride.ibaraki.jp
構造等 鉄筋コンクリート造 地上3階・地下1階
延床面積 2,253㎡ 敷地面積 6,760㎡
付属施設 訓練塔2棟 A塔 144㎡
B塔 104㎡
竣工 平成元年4月1日

【戸頭消防署】

所在地 取手市戸頭四丁目20番1号
TEL 0297-78-2531 FAX 0297-78-2532
E-mail togashira-fd@city.toride.ibaraki.jp
構造等 鉄筋コンクリート造 地上2階塔屋付
延床面積 850㎡ 敷地面積 1,000㎡
竣工 昭和50年10月1日

【吉田消防署】

所在地 取手市吉田545番地1
TEL 0297-74-1119 FAX 0297-74-1118
E-mail yoshida-fd@city.toride.ibaraki.jp
構造等 鉄筋コンクリート造 地上2階塔屋付
延床面積 890㎡ 敷地面積 2,963㎡
付属施設 水防防災機材備蓄庫 鉄骨造 144㎡
放水訓練施設 RC造 12㎡
竣工 昭和56年4月1日

【柵木消防署】

所在地 取手市柵木950番地1
TEL 0297-83-1166 FAX 0297-83-4413
E-mail kunugi-fd@city.toride.ibaraki.jp
構造等 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造） 地上2階
延床面積 1300.64㎡ 敷地面積 5,237㎡
付属施設 放水訓練施設
竣工 昭和58年9月30日

【宮和田出張所】

所在地 取手市宮和田1782番地1
TEL 0297-82-5119 FAX 0297-82-5169
E-mail miyawada-fd@city.toride.ibaraki.jp
構造等 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 地上2階
延床面積 749.995㎡ 敷地面積 2,659㎡
付属施設 放水訓練施設
竣工 平成5年4月1日

(2) 消防団

分団名	所在地	築年月	車庫 (㎡)	詰所 (㎡)	合計 (㎡)
第 1 分団	取手市新町 1-3	H19. 3	57. 87	36. 90	94. 77
第 2 分団	取手市取手 2-14-23	H17. 3	22. 38	22. 38	44. 76
第 3 分団	取手市取手 1-13	H 9. 3	43. 92	34. 55	78. 47
第 4 分団	取手市取手 2-17	H 5. 8	44. 05	53. 13	97. 18
第 5 分団	取手市台宿 2-18	H13. 9	32. 82	36. 61	69. 43
第 6 分団	取手市白山 2-6	S53. 3	46. 20	90. 67	136. 87
第 7 分団	取手市井野 876	H 9. 3	32. 82	36. 61	69. 43
第 8 分団	取手市吉田 361	S55. 1	23. 10		23. 10
第 9 分団	取手市小堀 4230	S56. 2	25. 02	22. 68	47. 70
第 10 分団	取手市市之代 499-1	H 1.	36. 00		36. 00
第 11 分団	取手市上高井 612-1	S58. 1	23. 43		23. 43
第 12 分団	取手市下高井 1308-2	S60. 2	36. 12		36. 12
第 13 分団	取手市米ノ井 374-2	H 3. 3	36. 38	27. 98	64. 36
第 14 分団	取手市戸頭 1439-1	S59. 1	23. 43		23. 43
第 15 分団	取手市野々井 1418-1	S60. 3	23. 43		23. 43
第 16 分団	取手市稲 1163	H18. 8	23. 43		23. 43
第 17 分団	取手市駒場 3-12	S58. 1	23. 43		23. 43
第 18 分団	取手市本郷 3-11	S62. 3	22. 63		22. 63
第 19 分団	取手市桑原 463	S57. 1	23. 43		23. 43
第 20 分団	取手市桑原 1056-1	S59. 1	23. 43		23. 43
第 21 分団	取手市小文間 4232	H17. 3	32. 82	36. 61	69. 43
第 22 分団	取手市小文間 4677-8	S57. 1	23. 43		23. 43
第 25 分団	取手市井野台 2-6	S61. 1	23. 43		23. 43
第 26 分団	取手市東 5-8	S52. 3	42. 03	22. 68	64. 71
第 27 分団	取手市岡 939	H 1.11	33. 10		33. 10
第 28 分団	取手市山王 313	H 1. 3	37. 05		37. 05
第 29 分団	取手市神住 888	S51.10	30. 24		30. 24
第 30 分団	取手市清水 378-1	S53.11	30. 24		30. 24
第 31 分団	取手市中田 752-3	S52.	30. 24		30. 24
第 32 分団	取手市櫛木 931-12	H 6.11	35. 60		35. 60
第 33 分団	取手市宮和田 343-2	H 5.12	36. 00		36. 00
第 34 分団	取手市高須 190-1	H 2.10	26. 60		26. 60
第 35 分団	取手市浜田 257-1	H 5.	30. 10		30. 10
第 36 分団	取手市新川 247-2	H12. 3	35. 60		35. 60
第 37 分団	取手市双葉 2-1267-208	S43.	31. 50		31. 50

5. 市予算と消防予算との比較

(単位：千円)

種別 年度	市予算額	消防予算額	比較	消防予算内訳	
				常備消防費	非常備消防費
平成23年度	33,110,000	1,741,351	5.26%	1,661,201	80,150
平成24年度	32,570,000	1,773,489	5.44%	1,693,222	80,267
平成25年度	34,030,000	1,763,713	5.18%	1,676,236	87,477
平成26年度	33,560,000	1,897,341	5.65%	1,811,534	85,807
平成27年度	35,570,000	1,902,517	5.34%	1,813,139	89,378

6. 人口及び世帯あたりの消防費

種別 年度	人口1人あたり（円）		1世帯あたり（円）		各年4月1日現在	
	一般会計	消防費	一般会計	消防費	人口	世帯数
平成23年度	299,833	15,769	737,778	38,802	110,428	44,878
平成24年度	297,685	16,209	724,938	39,474	109,411	44,928
平成25年度	309,490	16,040	745,553	38,641	109,955	45,644
平成26年度	306,786	17,344	728,820	41,204	109,392	46,047
平成27年度	325,780	17,424	762,519	40,784	109,184	46,648

7. 消防職員関係

(1) 消防職員の配置状況

(H27.4.1現在)

階級配 置別		消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他 の職員	計	
		消防本部	消防長	1							
次長			1							1	
総務課	庶務係			1	2	1					5 (1)
	施設装備係					1					
	消防団係					(1)					
	総務課付										
予防課	予防係			1	1	1			1		6
	危険物係				1	1					
警防課	警防係			1	1	1					5
	救急救助係				1	1					
指令課	第一指令係			1	1	3	1				11
	第二指令係				1	2	2				
研修・派遣等						1			4		5
小計			1	5	8	12(1)	3	0	5	0	34(1)
取手消防署	第一中隊		3	3	11	5	2	3		51	
	第二中隊			3	9	7	1	4			
戸頭消防署	第一中隊		2	1	5	1		4		25	
	第二中隊			2	6	1		3			
吉田消防署	第一中隊		2	1	5	1		2		21	
	第二中隊			2	5	1		2			
櫛木消防署 宮和田出張所 ※每当務、宮和田 出張所へ救急隊 3名が出向する	第一中隊		2	2	7	3		3		31	
	第二中隊			1	8	2		3			
小計		0	9	15	56	21	3	24	0	128	
合計		1	14	23	68(1)	24	3	29	0	162(1)	

()は兼務職員

(2) 消防職員の階級別勤務年数

(H27. 4. 1現在)

階級 年数	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他 の職員	計
5年未満						2	29 (1)		31 (1)
5年以上10年未満					2	1			3
10年以上15年未満				3 (1)	7 (2)				10 (3)
15年以上20年未満				3	1				4
20年以上25年未満				27	8				35
25年以上30年未満			6	5	4				15
30年以上	1	14	17	30	2				64
計	1	14	23	68 (1)	24 (2)	3	29 (1)	0	162 (4)

()内は女性

(3) 消防職員の階級別年齢

(H27. 4. 1現在)

階級 年数	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他 の職員	計
20才未満							2		2
20才以上25才未満							17 (1)		17 (1)
25才以上30才未満					2	3	10		15
30才以上35才未満					5 (1)				5 (1)
35才以上40才未満				8 (1)	3 (1)				11 (2)
40才以上45才未満			1	25	8				34
45才以上50才未満			5	5	3				13
50才以上55才未満		2	11	14	3				30
55才以上	1	12	6	16					35
計	1	14	23	68 (1)	24 (2)	3	29 (1)	0	162 (4)

()内は女性

8. 消防団関係

(1) 消防団員配置表

(H27. 4. 1現在)

階級 区分	団 長	副団長	方面隊長	本部員	分団長	副分団長	部 長	班 長	機関員	団 員	計
団本部	1	4	2	8							15
第1分団					1	1	1	3	3	8	17
第2分団					1	1	1	3	3	3	12
第3分団					1	1	1	3	3	11	20
第4分団					1	1	1	3	3	10	19
第5分団											
第6分団					1	1	1	3	3	5	14
第7分団					1	1	1	3	3	5	14
第8分団					1	1	1	3	3	3	12
第9分団					1	1	1	3	3	5	14
第10分団					1	1	1	3	3	2	11
第11分団					1	1	1	3	3	6	15
第12分団					1	1	1	3	3	3	12
第13分団					1	1	1	3	3	4	13
第14分団					1	1	1	3	3	5	14
第15分団					1	1	1	3	3	8	17
第16分団					1	1	1	3	3	4	13
第17分団					1	1	1	3	3	2	11
第18分団					1	1	1	1	1	0	5
第19分団					1	1	1	3	3	2	11
第20分団					1	1	1	3	2	2	10
第21分団					1	1	1	3	3	7	16
第22分団					1	1	1	3	3	7	16
第25分団					1	1	1	2	0	0	5
第26分団					1	1	1	3	3	9	18
第27分団					1	1	1	3	3	8	17
第28分団					1	1	1	3	3	5	14
第29分団					1	1	1	3	3	6	15
第30分団					1	1	1	3	3	9	18
第31分団					1	1	1	3	3	12	21
第32分団					1	1	1	3	3	9	18
第33分団					1	1	1	3	3	15	24
第34分団					1	1	1	3	3	11	20
第35分団					1	1	1	3	3	13	22
第36分団					1	1	1	3	3	10	19
第37分団					1	1	1	3	3	13	22
女性消防団員					1	1	1	3	0	9	15
計	1	4	2	8	35	35	35	102	96	231	549

(2) 平成26年中の消防団火災出場状況(人員)

月 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
団本部		4			11							7	22
第1分団		3											3
第2分団													0
第3分団					6							4	10
第4分団													0
第5分団													0
第6分団		4											4
第7分団													0
第8分団													0
第9分団					9								9
第10分団													0
第11分団					4							5	9
第12分団					7							4	11
第13分団					12							2	14
第14分団					6							7	13
第15分団												2	2
第16分団		3											3
第17分団													0
第18分団		2											2
第19分団													0
第20分団													0
第21分団				2									2
第22分団													0
第25分団													0
第26分団		2											2
第27分団					1								1
第28分団													0
第29分団													0
第30分団													0
第31分団													0
第32分団													0
第33分団					4								4
第34分団													0
第35分団													0
第36分団													0
第37分団													0
女性消防団員													0
計	0	18	0	2	60	0	0	0	0	0	0	31	111

(3) 消防団員の階級別年齢

(H27. 4. 1現在)

階級 年 齢	団長	副団長	方面 隊長	本部員	分団長	副分 団長	部長	班長	機関員	団員	計
20才未満								1		4	5
20才以上25才未満							1	1 (1)	6	24	32 (1)
25才以上30才未満					1	1	3	12	9	20	46
30才以上35才未満					4	7	2	16	18	42	89
35才以上40才未満					14	14	15	20	25	37 (2)	125 (2)
40才以上45才未満				2	12 (1)	6 (1)	7 (1)	29 (1)	21	49 (2)	126 (5)
45才以上50才未満			1	1	2	5	6	21 (2)	10	30	76 (2)
50才以上55才未満			1	4	2	1	1	1	6	18 (5)	34 (5)
55才以上60才未満		2		1		1			1	7 (1)	12 (1)
60才以上65才未満		1						1			2
65才以上	1	1									
計	1	4	2	8	35 (1)	35 (1)	35 (1)	102 (4)	96	231 (9)	549 (16)

()内は女性団員

(4) 消防団員の報酬及び手当

(H27. 4. 1現在)

階級 年 間 報 酬	団長	副団長 方面隊長	本部員	分団長	副分 団長	部長	班長	機関員	団員	
年 間 報 酬	142,000	98,000	80,000	55,000	40,000	35,000	32,000	32,000	29,000	
火災出動手当	建 物 火 災	1名あたり 3,000円 (不防ぎよ 2,000円)								
	そ の 他 火 災	1名あたり 2,000円 (不防ぎよ 1,500円)								
水 害 出 動 手 当	1名あたり 5,000円 (一事案につき)									
堤防巡視・警戒	1名あたり 2,000円 (一事案につき)									
警 戒 出 動 手 当	1名あたり 2,000円 (一事案につき)									
訓 練 出 動 手 当	1名あたり 2,000円 (ポンプ操法訓練 1,500円)									
防 火 診 断 等	1名あたり 1,500円									
運 営 交 付 金	消防団本部					年間 160,000円				
	ポンプ車所有分団			1個分団につき		年間 172,000円				
	小型ポンプ所有分団			1個分団につき		年間 170,000円				
	女性消防分団					年間 160,000円				

消防機関配置図



予 防



1. 危険物規制事務

(1) 危険物製造所等の推移

(H27.3.31現在)

製造所等 年 度	製造所	貯蔵所							取扱所		合 計
		屋内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	簡易 タンク	屋外	給油	一般	
平成22年	1	21	19	3	41	14	1	2	29	37	168
平成23年	1	18	16	1	40	14	1	2	28	32	153
平成24年	1	17	15	1	41	14	2	2	27	30	150
平成25年	1	17	15	1	35	13	2	2	26	25	137
平成26年	1	17	15	1	34	13	2	2	26	21	132

(2) 危険物製造所等の倍数別数

(H27.3.31現在)

製造所等	製造所	貯蔵所							取扱所		合 計
		屋内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	簡易 タンク	屋外	給油	一般	
5倍以下		8	2	1	18	9	2	1	1	11	53
5倍を超え 10倍以下		3	2		9			1		5	20
10倍を超え 50倍以下		4	5		4	4			9	4	30
50倍を超え 100倍以下		1	2		3				2		8
100倍を超え 150倍以下	1	1							2	1	5
150倍を超え 200倍以下			2						1		3
200倍を超え 1000倍以下			2						11		13
1000倍を超え 5000倍以下											0
合 計	1	17	15	1	34	13	2	2	26	21	132

(3) 危険物施設の予防査察状況

(H26.4.1 ~ H27.3.31)

区分	製造所等 製造所	貯蔵所							取扱所		合計
		屋内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	簡易 タンク	屋外	給油	一般	
施設数	1	17	15	1	34	13	2	2	26	21	132
査察実施回数	0	7	9	0	18	13	1	1	20	5	74

(4) 危険物製造所等の事務処理状況

(H26.4.1 ~ H27.3.31)

区分	製造所等	製造所	貯蔵所							取扱所		合計
			屋内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	簡易 タンク	屋外	給油	一般	
許可	設置				3						3	
	変更	1							3		4	
完成検査	設置										0	
	変更	1							2		3	
仮使用承認申請		1							3		4	
廃止届					1					4	5	
休止・再開届										5	5	
種類・数量変更届		2	4		1						7	
保安監督者選解任届		1	1		2			1	2	3	10	
資料提出 軽微な変更届		1	2		6		2	2	10	1	24	
合計		7	7		13		2	3	20	13	65	

2. 消防同意事務

(1) 受付・同意・不同意件数

(H26.4.1 ~ H27.3.31)

区分	受付件数	同意件数	不同意件数	1日平均
件数	137件	135件	2件	0.38件

(2) 工事種別件数

(H26.4.1 ~ H27.3.31)

区分	新築	増築	改築	移転	修繕	模様替	用途変更	その他	合計
件数	130	6					1		137

3. 予防行政事務

(1) 防火対象物 (150㎡以上)

(H27.3.31現在)

防火対象物		階 数															合 計
		3階以下	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	20階		
1	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	3		1												4	
	ロ 公会堂又は集会場	42	1													43	
2	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブ、その他これらに類するもの															0	
	ロ 遊技場又はダンスホール	7														7	
	ハ 風俗営業等の店舗その他これらに類するもの															0	
	ニ カラオケボックス、個室店舗等	2														2	
3	イ 待合、料理店その他これらに類するもの	2														2	
	ロ 飲食店	29														29	
4	百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	95														95	
5	イ 旅館、ホテル又は宿泊所	3		1												4	
	ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	614	39	173	10	13	7	3	12	6		3	3	1	1	885	
6	イ 病院、診療所又は助産所	35	4	1	1											41	
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム等	26		1												27	
	ハ 保育所、有料老人ホーム、老人福祉施設等	47														47	
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	11														11	
7	小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの	94	28	2	2											126	
8	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	2														2	
9	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの															0	
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1														1	
10	車両の停車所又は船舶若しくは航空機の発着場	1														1	
11	神社、寺院、教会その他のこれらに類するもの	28	1													29	
12	イ 工場又は、作業場	171	1		1											173	
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ															0	
13	イ 自動車車庫又は駐車場	23	1													24	
	ロ 飛行機又は回転翼飛行機の格納庫															0	
14	倉庫	95	1													96	
15	前各項に該当しない事業場	206	7	2	1	2										218	
16	イ 複合用途防火対象物のうちの一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、6項又は9項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの	110	19	27	10	2	2	2	2	1	2		1			178	
	ロ イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	53	6	4	6		1	1	1					1		73	
17	重要文化財等	10														10	
合 計		1,710	108	212	31	17	10	6	15	7	2	3	4	2	1	2,128	

(2) 消防用設備等設置状況

(H27. 3. 31現在)

消防用設備等 防火対象物		屋内 消火栓 設備	屋外 消火栓 設備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	非 常 コ ン セ ン ト 設 備	誘 導 灯	避 難 器 具	排 煙 設 備	連 結 送 水 管	消 防 用 水
1	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	3		1	4	3			4			1	
	ロ 公会堂又は集会場	10		1	30	33			36	5	1		
2	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブ、 その他これらに類するもの												
	ロ 遊技場又はダンスホール	3		1	6	3			7	1	1		
	ハ 風俗営業等の店舗その他これらに類するもの												
3	イ 待合、料理店その他これらに類するもの					1	1		1				
	ロ 飲食店				10	15			26	3			
4	百貨店、マーケット、その他の物品販売業 を営む店舗又は展示場	10	1	3	60	23			95		3		1
5	イ 旅館、ホテル又は宿泊所				4				4	1			
	ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	24		1	112	79	4	18	24	128		59	
6	イ 病院、診療所又は助産所	5		3	27	7			27	8		2	1
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム、 特別養護老人ホーム等	1		26	27	5			27	4			
	ハ 保育所、有料老人ホーム、老人福祉施設等	2			29	6			36	2			
	ニ 幼稚園又は特別支援学校				9				4	2			
7	小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校、 各種学校その他これらに類するもの	63	2		104	69			5	25		1	1
8	図書館、博物館、美術館その他これらに 類するもの	1			2	1			2				
9	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場 その他これらに類するもの												
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1			1				1				
10	車両の停車所又は船舶若しくは航空機の 発着場				1								
11	神社、寺院、教会その他のこれらに類する もの	3			5	16	1		3	1			
12	イ 工場又は、作業場	22	10		68	2			11	2		1	7
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ												
13	イ 自動車車庫又は駐車場				9				2			1	
	ロ 飛行機又は回転翼飛行機の格納庫												
14	倉庫	22	10	2	47				8				2
15	前各項に該当しない事業場	21	3		60	32			43	11		2	2
16	イ 複合用途防火対象物のうちの一部が(1)項から(4)項まで、 (5)項イ、6項又は9項イに掲げる防火対象物の用途に供され ているもの	12		4	86	41			112	60	2	5	1
	ロ イに掲げる複合用途防火対象物以外の 複合用途防火対象物	3	1	1	19	12			14	21		3	1
17	重要文化財等				8								
合 計		206	27	43	730	348	6	18	494	274	7	75	16

(3) 防火管理者選任等状況

(H27.3.31現在)

防火対象物	対象区分	防火管理者を選任すべき対象物数	防火管理者選任届出済対象物		消防計画届出済対象物	
			届出数	比率 (%)	届出数	比率 (%)
1	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場					
	ロ 公会堂又は集会場	39	39	100.0%	39	100.0%
2	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブ、その他これらに類するもの					
	ロ 遊技場又はダンスホール	5	5	100.0%	5	100.0%
	ハ 風俗営業等の店舗その他これらに類するもの					
	ニ カラオケボックス、個室店舗等	2	2	100.0%	2	100.0%
3	イ 待合、料理店その他これらに類するもの	2	0	0.0%	0	0.0%
	ロ 飲食店	29	24	82.8%	24	82.8%
4	百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	84	65	77.4%	57	67.9%
5	イ 旅館、ホテル又は宿泊所	4	4	100.0%	4	100.0%
	ロ 寄宿舍、下宿又は共同住宅	103	90	87.4%	88	85.4%
6	イ 病院、診療所又は助産所	13	13	100.0%	13	100.0%
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム等	19	18	94.7%	18	94.7%
	ハ 保育所、有料老人ホーム、老人福祉施設等	35	31	88.6%	31	88.6%
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	9	8	88.9%	8	88.9%
7	小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの	38	35	92.1%	35	92.1%
8	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	2	2	100.0%	2	100.0%
9	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの					
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1	1	100.0%	1	100.0%
10	車両の停車所又は船舶若しくは航空機の発着場					
11	神社、寺院、教会その他のこれらに類するもの	20	17	85.0%	17	85.0%
12	イ 工場又は、作業場	10	8	80.0%	8	80.0%
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ					
13	イ 自動車車庫又は駐車場					
	ロ 飛行機又は回転翼飛行機の格納庫					
14	倉庫	3	2	66.7%	2	66.7%
15	前各項に該当しない事業場	39	38	97.4%	37	94.9%
16	イ 複合用途防火対象物のうちの一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、6項又は9項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの	115	96	83.5%	67	58.3%
	ロ イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	48	32	66.7%	28	58.3%
17	重要文化財等					
合 計		620	530	85.5%	486	78.4%

(4) 消防用設備等の点検結果報告状況

特定(H26. 4. 1 ~ H27. 3. 31) 非特定(H24. 4. 1 ~ H27. 3. 31)

防火対象物	対象区分	点検を要する対象物			報告済対象物			
		(A) 総数	1,000㎡ 未 満	1,000㎡ 以 上	(B) 総 数	比率(%) (B)/(A)	1,000㎡ 未 満	1,000㎡ 以 上
1	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	4		4	4	100.0%		4
	ロ 公会堂又は集会場	43	31	12	35	81.4%	24	11
2	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブ、 その他これらに類するもの							
	ロ 遊技場又はダンスホール	7	4	3	6	85.7%	3	3
	ハ 風俗営業等の店舗その他これらに類するもの							
	ニ カラオケボックス、個室店舗等	2	1	1	2	100.0%	1	1
3	イ 待合、料理店その他これらに類するもの	2	2		1	50.0%	1	
	ロ 飲食店	29	29		12	41.4%	12	
4	百貨店、マーケット、その他の物品販売業を 営む店舗又は展示場	95	71	24	60	63.2%	39	21
5	イ 旅館、ホテル又は宿泊所	4	3	1	3	75.0%	2	1
	ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	737	616	121	449	60.9%	340	109
6	イ 病院、診療所又は助産所	41	27	14	36	87.8%	23	13
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム、 特別養護老人ホーム等	27	15	12	22	81.5%	11	11
	ハ 保育所、有料老人ホーム、老人福祉施設等	47	39	8	41	87.2%	33	8
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	11	10	1	9	81.8%	8	1
7	小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校、 各種学校その他これらに類するもの	121	46	75	118	97.5%	45	73
8	図書館、博物館、美術館その他これらに 類するもの	2		2	2	100.0%		2
9	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場 その他これらに類するもの							
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1		1	1	100.0%		1
10	車両の停車所又は船舶若しくは航空機の 発着場	1		1	1	100.0%		1
11	神社、寺院、教会その他のこれらに類する もの	18	13	5	15	83.3%	10	5
12	イ 工場又は、作業場	173	129	44	122	70.5%	82	40
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ							
13	イ 自動車車庫又は駐車場	24	17	7	12	50.0%	7	5
	ロ 飛行機又は回転翼飛行機の格納庫							
14	倉庫	96	91	5	65	67.7%	60	5
15	前各項に該当しない事業場	165	119	46	145	87.9%	101	44
16	イ 複合用途防火対象物のうちの一部が(1)項から(4)項まで、 (5)項イ、6項又は9項イに掲げる防火対象物の用途に供され ているもの	176	138	38	96	54.5%	65	31
	ロ イに掲げる複合用途防火対象物以外の 複合用途防火対象物	73	59	14	32	43.8%	19	13
17	重要文化財等	10	10		10	100.0%	10	
合 計		1,909	1,470	439	1,299	68.0%	896	403

(5) 防火対象物の予防査察状況

H26. 4. 1 ~ H27. 3. 31

防火対象物		対象区分	対象物数 (棟数)	査察実施回数
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	4	2
	ロ	公会堂又は集会場	43	31
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ、その他これらに類するもの		
	ロ	遊技場又はダンスホール	7	6
	ハ	風俗営業等の店舗その他これらに類するもの		
	ニ	カラオケボックス、個室店舗等	2	2
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	2	1
	ロ	飲食店	29	18
4		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	95	41
5	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	4	1
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	885	174
6	イ	病院、診療所又は助産所	41	22
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム等	27	24
	ハ	保育所、有料老人ホーム、老人福祉施設等	47	40
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	11	8
7		小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの	126	38
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	2	
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの		
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1	1
10		車両の停車所又は船舶若しくは航空機の発着場	1	0
11		神社、寺院、教会その他のこれらに類するもの	29	9
12	イ	工場又は、作業場	173	21
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ		
13	イ	自動車車庫又は駐車場	24	5
	ロ	飛行機又は回転翼飛行機の格納庫		
14		倉庫	96	23
15		前各項に該当しない事業場	218	35
16	イ	複合用途防火対象物のうちの一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、6項又は9項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの	178	92
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	73	18
17		重要文化財等	10	8
合 計			2,128	620

4. 消防関係法令に基づく届出

H26.4.1 ~ H27.3.31

届出種別	受理	検査
防火管理者選任(解任)	169	
消防計画書届	267	
防火対象物使用開始届	72	72
圧縮アセチレンガス等の貯蔵・取扱い届	28	28
露店等の開設届	50	50
禁止行為の解除承認申請届	12	12
炉設置届	11	11
厨房設備設置届	6	6
ボイラー給湯湯沸設備設置届	2	2
乾燥設備設置届	18	18
サウナ設備設置届	0	0
火花を生じる設備設置届	0	0
指定洞道届	0	0
変電設備設置届	13	13
発電設備設置届	6	6
蓄電池設備設置届	12	12
ネオン管灯設備設置届	0	0
水素ガスを充填する気球届	0	0
火災とまぎらわしい行為届	74	
煙火打上げ・仕掛け届	16	
催物開催届	5	
水道断減水届	10	
道路工事届	253	
少量危険物貯蔵・取扱届	7	7
指定可燃物貯蔵・取扱届	14	14
火を使用する設備等廃止届	21	

警 防



1. 10年間における火災発生状況

※出火率とは人口1万人当たりの出火件数

年	人口	火災件数	建物	車両	林野	その他	出火率
平成17年	113,184	34	24	7	0	3	3.0
平成18年	112,277	28	20	4	0	4	2.5
平成19年	111,900	24	15	5	0	4	2.1
平成20年	111,136	20	17	1	0	2	1.8
平成21年	110,808	14	8	3	0	3	1.3
平成22年	110,694	33	26	3	0	4	3.0
平成23年	110,428	26	21	0	0	5	2.4
平成24年	109,411	28	16	7	0	5	2.5
平成25年	109,955	17	12	4	0	1	1.5
平成26年	109,392	19	11	3	0	5	1.7
平均		24.3	17.0	3.7	0.0	3.6	2.2

2. 火災統計(平成26年1月～12月)

(1) 火災発生件数

種 別	件 数	割 合
建 物 火 災	11	57.9%
車 両 火 災	3	15.8%
その他 火 災	5	26.3%
合 計	19	100%

(2) 焼損面積

種 別	平成26年	前 年 比
建 物 火 災	4 5 5 . 0 9 m ²	2 2 4 . 0 5 m ² 増
林 野 火 災	0 . 0 m ²	増減なし
その他 火 災	6 9 5 . 0 m ²	6 1 , 3 0 5 . 0 0 m ² 減

(3) 損害額

種 別	平成26年	前 年 比
建 物 火 災	6 0 , 6 7 9 千円	5 5 , 3 6 1 千円 増
車 両 火 災	3 9 0 千円	2 1 千円 減
林 野 火 災	0 千円	増減なし
その他 火 災	1 4 0 千円	1 4 0 千円 増
合 計	6 1 , 2 0 9 千円	5 5 , 4 8 0 千円 増

(4) 月別火災発生状況

月別 種別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
		件数	2	3	1	1	3	1	1	1		1	1	4
火災 件数	建物	1	1		1	2		1				1	4	11
	車両		1				1				1			3
	林野													0
	その他	1	1	1		1			1					5
焼損 棟数	全焼		1			1							1	3
	半焼					1								1
	部分焼		3										1	4
	ぼや	1			1	3		1				1	3	10
罹災 世帯数	全損		1										1	2
	半損					2								2
	小損	1	3		1	3							1	9
罹災者数	2	15		4	14								10	45
死傷者	死者		1											1
	負傷者			2		2							1	5
焼損 面積	建物 (㎡)	床面積 表面積 0.08	床面積 表面積 140.76 13.28	床面積 表面積	床面積 表面積	床面積 表面積 99.98	床面積 表面積	床面積 表面積 0.70	床面積 表面積	床面積 表面積	床面積 表面積	床面積 表面積 10.80	床面積 表面積 91.07 98.42	床面積 表面積 331.81 123.28
	その他 (㎡)					660		35						695.00
損害額 (千円)	建物		30,845		15	10,641		43				2,598	16,537	60,679
	車両		228				45				117			390
	林野													0
	その他		1						139					140
	合計	0	31,074	0	15	10,641	45	43	139	0	117	2,598	16,537	61,209

(5)平成26年火災概況

件数	出 火		覚知時間	鎮火時間	放水 台数 (分団)	出火場所管轄署	火災 種別	火元の用途 焼損物件	原 因	焼 損				面積 台 数	覚知方法	損害額 合計(千円)
	月 日	時 間								焼損程度						
										全焼	半焼	部分焼	ぼや			
1	1月26日	16時14分	16時36分	16時40分		取手署	その他	学校(植栽)	火遊び					警察電話	0	
2	1月30日	2時45分	3時02分	不明		取手署	建物	共同住宅	過多電流			1	表面積0.08㎡	専用電話	0	
3	2月7日	15時00分	15時26分	18時01分	5	取手署	建物	専用住宅	不明	1		3	140.76㎡ 表面積13.28㎡	専用電話	30,845	
4	2月23日～ 2月24日頃	不明	2月26日 14時45分	不明		吉田署	その他	テント様小屋	不明					警察電話	1	
5	2月26日	14時15分	14時25分	14時41分	2	戸頭署	車両	普通乗用車	枯草焼き				1台	専用電話	228	
6	3月31日	6時45分	7時13分	7時29分	2	取手署	その他	ゴミ類	不明				㎡	専用電話	0	
7	4月4日	10時50分	11時10分	11時16分		戸頭署	建物	共同住宅	グリルコンロの放置			1		専用電話	15	
8	5月5日	3時45分	4時02分	5時55分	5	戸頭署	建物	共同住宅	電源コードの短絡		1		3	94.38㎡	専用電話	10,627
9	5月5日	15時00分	15時07分	15時27分	2	戸頭署	建物	物置	残火処理の不適	1			5.6㎡	専用電話	14	
10	5月18日	11時40分	12時05分	12時28分	1	取手署	その他	雑草	ごみ焼却				枯草660㎡	専用電話	0	
11	6月28日	4時06分	4時06分	4時15分	1	梶木署	車両	普通乗用車	衝突による発火				1台	警察電話	45	
12	7月16日	5時45分	6時03分	5時58分		取手署	建物	休憩所	不明			1	表面積 0.7㎡	事後聞知	43	
13	8月21日	18時45分	19時11分	19時28分		梶木署	その他	排水ポンプ制御盤	たばこ				枯草35㎡	加入電話	139	
14	10月24日	0時00分	0時44分	1時47分	4	取手署	車両	4トントラック	排気管からの受熱				1台	専用電話	117	
15	11月1日	7時00分	7時41分	8時16分	2	戸頭署	建物	倉庫	観賞用ヒーター			1	表面積10.8㎡	専用電話	2,598	
16	12月9日	1時30分	2時01分	2時06分		戸頭署	建物	共同住宅	放火の疑い			1	0.35㎡	専用電話	3	
17	12月13日	5時00分	5時23分	6時51分	10 (1)	戸頭署	建物	専用住宅	電気ストーブ	1		1	90.72㎡ 表面積97.2㎡	専用電話	16,471	
18	12月15日	14時15分	14時24分	不明		取手署	建物	百貨店	摩擦帯電			1	表面積0.45㎡	専用電話	32	
19	12月22日	12時40分	13時08分	不明		取手署	建物	専修学校	たばこ			1	表面積0.77㎡	専用電話	31	

(6)月別・火災種別発生件数

月別 種別	月別												計	(%)	損害額 (千円)
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
建物	1	1		1	2		1				1	4	11	57.9%	60,679
車両		1				1				1			3	15.8%	390
その他	1	1	1		1			1					5	26.3%	140
合計	2	3	1	1	3	1	1	1		1	1	4	19	100%	61,209

(7)出火時間別件数

種別 時間	建物火災				車両火災		その他の火災		計	
	件数	焼損面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)
0～2	1	0.35		3	1	117			2	120
2～4	2	94.38	0.08	10,627					2	10,627
4～6	2	90.72	97.90	16,514	1	45			3	16,559
6～8	1		10.80	2,598			1	0	2	2,598
8～10										
10～12	1			15			1	0	2	15
12～14	1		0.77	31					1	31
14～16	3	146.36	13.73	30,891	1	228			4	31,119
16～18							1	0	1	0
18～20							1	139	1	139
20～22										
22～24										
不明							1	1	1	1
計	11	331.81	123.28	60,679	3	390	5	140	19	61,209

(8)火災原因(月別発生状況)

原因 \ 月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
たばこ								1				1	2
ガスこんろ				1									1
簡易型ガスこんろ													0
漏電													0
電気配線													0
電気器具	1				1						1	1	4
マッチ・ライター													0
風呂釜													0
放火													0
放火の疑い												1	1
不明		2	1				1						4
上記以外	1	1			2	1				1		1	7
計	2	3	1	1	3	1	1	1	0	1	1	4	19

(9)火災原因(時間別発生状況)

原因 \ 時間別	0 ～ 2	2 ～ 4	4 ～ 6	6 ～ 8	8 ～ 10	10 ～ 12	12 ～ 14	14 ～ 16	16 ～ 18	18 ～ 20	20 ～ 22	22 ～ 24	不明	計
たばこ							1			1				2
ガスこんろ						1								1
簡易型ガスこんろ														0
漏電														0
電気配線														0
電気器具		2	1	1										4
マッチ・ライター														0
風呂釜														0
放火														0
放火の疑い	1													1
不明			1	1				1					1	4
上記以外	1		1			1		3	1					7
計	2	2	3	2	0	2	1	4	1	1	0	0	1	19

3. 水利・車両・機械器具関係

(1) 水利現有数一覧表

(H27. 4. 1現在)

種 別 区 域		消火栓					防火水槽						合 計
		公設		私設		計	公設		私設		計	耐震型 (飲料水兼用)	
		150mm以上	150mm未満	150mm以上	150mm未満		40m ³ 以上	40m ³ 未満	40m ³ 以上	40m ³ 未満			
1	市之代・貝塚・上高井・下高井	1	6			7	18	14	7	1	40	5	47
2	野々井・米ノ井・永山・ゆめみ野1~5丁目	38	35			73	41	7	6		54	7	127
3	戸頭1~9丁目・戸頭	38	20	8	1	67	23	5	9		37	21 (1)	104
4	新取手1~5丁目	13	46			59	9		1		10	1	69
5	西1~2丁目・稲	22	13			35	12	4	4		20	1	55
6	駒場1~4丁目・寺田・桑原	21	23			44	31	16	7		54	6 (1)	98
7	本郷1~5丁目	15	9			24	9	2	17	4	32	4	56
8	白山1~8丁目	28	26		1	55	7	11	15	6	39	4	94
9	新町1~6丁目	17	23			40	10	1	5		16	1	56
10	井野台1~5丁目・中原町	17	21			38	6	4	7		17	1	55
11	取手1~3丁目	15	9			24	3	4	4		11	3	35
12	台宿1~2丁目	4	15			19	3	6	4		13		32
13	東1~6丁目	17	19			36	8	4	3		15	2	51
14	井野1~3丁目・井野団地	18	9			27	3		1		4	1	31
15	青柳1丁目・青柳・井野・長兵衛新田	29	30			59	21	8	7	1	37	6	96
16	小文間	5	5			10	30	12	6		48	6 (1)	58
17	小堀		8			8	1	4	1		6		14
18	岡・和田・山王・配松・神住・中内	16	18			34	23	17	5		45	1	79
19	柵木・藤代・片町・宮和田	30	36			66	22	9	13	2	46	2	112
20	藤代・宮和田新田・宮和田	11	16			27	10	3	5		18	1	45
21	浜田・紫水・上萱場・下萱場・大曲・新川	12	11			23	12	15	1		28	1	51
22	双葉	2	7			9	5	1			6		15
23	小浮気・谷中・毛有・清水	9	5			14	15	6	8		29	2	43
24	谷中・東観団地・毛有・清水・中田・渋沼	17	14			31	13	12			25		56
25	光風台・清水	4	12			16	8				8	1	24
26	平野・押切・長田・高須・大留・神浦	6	3			9	21	18	2		41		50
27	桜が丘	5	18			23	15				15		38
計		410	457	8	2	877	379	183	138	14	714	77 (3)	
小 計		867		10			562		152				
合 計		877					714						1,591

(2) 消防車両配置状況

(H27.4.1現在)

所属	車両名	車種・車名	年式	規格	特殊装備・積載品等
消防本部	連絡車	ダイハツ・軽バン(4WD)	H23		リース車
	連絡車	ダイハツ・軽バン(2WD)	H23		リース車
	連絡車	トヨタ・ノア	H23		リース車
	連絡車	トヨタ・ノア	H24		リース車
	連絡車	トヨタ・プロボックス	H24		リース車
	広報1号車	トヨタ・サクシード	H17		
	査察指導車	ダイハツ・軽バン	H11		
取手消防署	取手指令1号車	三菱・パジェロ	H20		
	取手指揮1号車	トヨタ・ハイエース4WD	H8		指揮本部用機材一式
	化学車	日野・レンジャー 4WD 5.5t	H25	II型	薬液槽500ℓ・水槽1,300ℓCAFS
	ポンプ車	いすゞ・エルフ 4WD	H9	CD-1	
	梯子車	日野・スーパードルフィン 10t	H4	35m	
	救助工作車	ニッサン	H12		
	高規格救急車	トヨタ・ハイメディック 4WD	H19		高度救命用資機材
	高規格救急車	トヨタ・ハイメディック 4WD	H10		高度救命用資機材
	ボートトレーラー		H11		
	ボートトレーラー		H22		
	ボートトレーラー		H23		
	重機搬送車	日野・レンジャー 10t	H25		移動式クレーン
	重機(バックホウ)	コマツPC55MR-3	H25		ブレーカー・ニブラ・旋回フォーク
	重機(バックホウ)	日立 ZU30U			
戸頭消防署	指令1号車	トヨタ・プレミオ	H9		
	水槽付ポンプ車	日野・レンジャー 5.5t	H8	II型	水槽2,000ℓ
	ポンプ車	いすゞ・エルフ	H5	CD-1	
	高規格救急車	トヨタ・ハイメディック 4WD	H16		高度救命用資機材
	ポンプ積載車	トヨタ・ハイエース	H7		ラビットH7製 (団本部用仮配置)
吉田消防署	指令1号車	トヨタ・カルディナバン	H5		
	水槽付ポンプ車	日野・レンジャー 5.5t	H7	II型	水槽2,000ℓ
	ポンプ車	いすゞ・エルフ	H7	CD-1	
	高規格救急車	トヨタ・ハイメディック 4WD	H27		高度救命用資機材
	資機材搬送車	三菱・キャンター	H11		移動式クレーン
桐木消防署	指令1号車	ニッサン・テラノ	H13		
	水槽付ポンプ車	三菱	H12		水槽2,000ℓ
	ポンプ車	いすゞ・エルフ	H6	CD-1	
	高規格救急車	トヨタ・ハイメディック 4WD	H24		高度救命用資機材
	ボートトレーラ	サンコー	H14		
	化学車	いすゞ・フォアード5.5t	H5	II型	薬液槽500ℓ・水槽1,500ℓ
宮和田出張所	高規格救急車	トヨタ・ハイメディック 4WD	H22		高度救命用資機材

【消防団】

(H27.4.1現在)

分団名	種 別	車種・車名	年式	規格	装備・積載備品等
第1分団	ポンプ車	三菱・キャンター	H 6	CD-1	ホースカー
第2分団	ポンプ車	いすゞ・エルフ	S 62	CD-1	ホースカー
第3分団	ポンプ車	三菱・キャンター	H10	CD-1	ホースカー
第4分団	ポンプ車	三菱・キャンター	H 7	CD-1	ホースカー
第5分団	ポンプ車	いすゞ・エルフ	H 5	CD-1	ホースカー
第6分団	ポンプ車	いすゞ・エルフ	H 5	CD-1	ホースカー
第7分団	ポンプ車	三菱・キャンター	H 7	CD-1	ホースカー
第8分団	ポンプ車	三菱・キャンター	H10	CD-1	ホースカー
第9分団	ポンプ車	三菱・キャンター	H 9	CD-1	ホースカー
第10分団	ポンプ積載車	トヨタ・ハイエース	H24		小型動力ポンプ（シバウラ製）
第11分団	ポンプ積載車	ニッサン・アトラス	H23		小型動力ポンプ（ラビット製）
第12分団	ポンプ積載車	トヨタ・ハイエース	S 60		小型動力ポンプ（トーハツ製）
第13分団	ポンプ車	いすゞ・エルフ	H 3	CD-1	ホースカー
第14分団	ポンプ積載車	ニッサン・アトラス	H27		小型動力ポンプ（ラビット製）
第15分団	ポンプ積載車	トヨタ・ハイエース	S 60		小型動力ポンプ（トーハツ製）
第16分団	ポンプ積載車	ニッサン・アトラス	H22		小型動力ポンプ（ラビット製）
第17分団	ポンプ積載車	ニッサン・アトラス	H25		小型動力ポンプ（ラビット製）
第18分団	ポンプ積載車	トヨタ・ハイエース	S 60		小型動力ポンプ（トーハツ製）
第19分団	ポンプ積載車	ニッサン・アトラス	H22		小型動力ポンプ（シバウラ製）
第20分団	ポンプ積載車	ニッサン・アトラス	H27		小型動力ポンプ（ラビット製）
第21分団	ポンプ車	三菱・キャンター	H 8	CD-1	ホースカー
第22分団	ポンプ車	トヨタ・ダイナ	H26	CD-1	ホースカー
第25分団	ポンプ積載車	トヨタ・トヨエース	S 61		小型動力ポンプ（トーハツ製）
第26分団	ポンプ車	三菱・キャンター	H 7	CD-1	ホースカー
第27分団	ポンプ積載車	ニッサン・アトラス	H17		小型動力ポンプ（シバウラ製）
第28分団	ポンプ車	いすゞ・エルフ	H 1	CD-1	ホースカー
第29分団	ポンプ積載車	いすゞ・エルフ	H 3		小型動力ポンプ（シバウラ製）
第30分団	ポンプ車	いすゞ・エルフ	H 6	CD-1	ホースカー
第31分団	ポンプ積載車	いすゞ・エルフ	H 4		小型動力ポンプ（シバウラ製）
第32分団	ポンプ車	いすゞ・エルフ	H 2	CD-1	ホースカー
第33分団	ポンプ車	いすゞ・エルフ	H 5	CD-1	ホースカー
第34分団	ポンプ車	いすゞ・エルフ	H 2	CD-1	ホースカー
第35分団	ポンプ車	いすゞ・エルフ	H14	CD-1	ホースカー
第36分団	ポンプ積載車	いすゞ・エルフ	H 2		小型動力ポンプ（シバウラ製）
第37分団	ポンプ車	いすゞ・エルフ	H14	CD-1	ホースカー

(3) 消防機械器具保有状況

(H27.4.1現在)

分類	品名	規格	数量	配置先					
				本部	取手	戸頭	吉田	桐木	宮和田
消 防 関 係	ホース	65mm	387		96	107	85	99	
	ホース	50mm	196		45	59	49	43	
	ホース	40mm	12		11			1	
	無人放水器		5		1	1		3	
	三連梯子		9		3	1	2	3	
	かぎ付梯子		6		3	2	1		
	複合ガス測定器		5		2	1	1	1	
	可燃性ガス探知機		3	1		1		1	
	背負い式消火水のう		33		12	7	7	7	
	投光器		16	1	5	2	2	6	
	発電機		15	1	5	3	2	4	
	可搬式放水銃		3		1	1		1	
	発泡ノズル		15		4	2	2	5	2
	耐熱服		7		2	1	1	3	
	無反動ノズル		19		2	2	4	11	
	フォグガン		4			2	1	1	
	胴付ゴム長靴		2			2			
	消火剤		2,240		1,260	140	140	520	180
	ミラクルフォーム (CAFS用)		240		240				
	排水ポンプ		11		4	3	2	1	1
組立水槽		12		7	1	1	3		
非常用ろ過装置		2		1			1		
小型動力ポンプ		11		3	2		6		
救 助 関 係	空気呼吸器		33		16	6	5	6	
	空気ボンベ		97		53	14	17	13	
	酸素呼吸器		2		2				
	簡易呼吸器	要救助者用	11		3				8
	救助訓練用マット		11		5		4		2
	エンジンカッター		7		3	1	1	2	
	チェーンソー		8		4	1	1	2	
	ガス溶断機		1		1				
	削岩機		1		1				
	ハンマードリル		2		2				
	エアーツール		2		1			1	
	大型油圧カッター		1		1				
	マット式空気ジャッキ一式		1		1				
油圧式救助器具一式		1		1					
救助用支柱		2		2					

分類	品名	規格	数量	配 置 先					
				本部	取手	戸頭	吉田	柵木	宮和田
救 助 関 係	油圧ジャッキ		1		1				
	空気式救助マット		1		1				
	可搬式ウインチ		3		3				
	サバイバースリング		2		2				
	救助用縛帯		15		12	1	1	1	
	鉄線カッター		10		3	2	2	2	1
	万能斧		13		6	4	1	2	
	レスキューシザー（救助用鋏）		4		2	1	1		
	排送風機		3		3				
	画像探索機Ⅱ型		1		1				
	放射線測定器		4		2	1		1	
	活線警報機		3		3				
	耐電衣一式		5		3	1	1		
	化学防護服一式		5		3			2	
	陽圧式化学防護服一式		4		4				
	放射線防護服一式		2		2				
	除染テント一式		1					1	
	除染剤散布器		1					1	
	防毒マスク		5		5				
	防塵マスク		26		6	3	7	10	
	防塵メガネ		9		5	3	1		
	防蜂服一式		13		3	3	3	2	2
	救命用ボート		2		2				
	船外機		7		4	1	1	1	
	発電機（ボート用）		2			1	1		
	投光器（ボート用）		3		1	1	1		
	携帯用投光器		3		2	1			
	水上バイク		1		1				
	潜水服一式		13				13		
	ドライスーツ		4				4		
潜水器具一式		4				4			
救命胴衣		94		43	18	17	13	3	
救命浮環		20		11	3	4	2		

分類	品名	規格	数量	配置先					
				本部	取手	戸頭	吉田	桐木	宮和田
救助関係	水中時計		4				4		
	水中投光器	(水中ライト)	3				3		
	空気切断機		1		1				
	救命索発射銃		3		3				
	舟形担架		3		3				
	緩降機		2		2				
	エレベーター扉解除キー式		1		1				
	携帯警報器		10		10				
救急関係	酸素蘇生器		6		2	1	1	1	1
	陰圧式固定器具		8		4	1	1	1	1
	全身固定ギブス		1						1
	屈折担架		5		2	2	1		
	リングカッター		11		3	2	2	2	2
	蒸気滅菌器		1		1				
	スクープストレッチャー		9		4	1	1	1	2
	背板		8		6	1		1	
	吸引器		7		3	1	1	1	1
	レコーディングレサシアン		1				1		
	レコーディングスキルメーターレサシアン		3			1		1	1
	気道管理トレーナー		3		1		1	1	
	乳児CPR訓練用人形	レサシベビー	4		3			1	
	CPR訓練用人形	リトルアン	8		8				
	CPR訓練用人形	ジャミーレコ	5		2	1	1	1	
	高度救命処置シミュレーター	セーブマン	2		2				
	外傷モデルキット (ケース付)		1		1				
	救急救命講習用ビデオ		5		1	1	1	1	1
	パルスオキシメーター		9		2	1	3	2	1
	血圧計		10		5	2	1	1	1
	聴診器		8		3	2	1	1	1
	電子聴診器		5		1	1	1	1	1
	喉頭鏡一式		10		4	1	3	1	1
手動式人工蘇生器	アンビュー	13		7	2	1	2	1	
人工呼吸器		6		2	1	1	1	1	
冷温バスケット		6		2	1	1	1	1	

分類	品名	規格	数量	配 置 先					
				本部	取手	戸頭	吉田	梶木	宮和田
救 急 関 係	自動式除細動器		9		4	1	2	1	1
	自動式心肺蘇生装置		3		1	1	1		
	輸液用資機材		6		2	1	1	1	1
	監視装置モニター		6		2	1	1	1	1
	携帯電話・FAX		6		2	1	1	1	1
	耐震血圧計		6		2	1	1	1	1
	自動血圧計		6		2	1	1	1	1
	静脈注射訓練用モデル		3		1		1		1
	異物除去訓練人形		1		1				
	在宅処置セット		1			1			
	非常用階段避難器具		5		1	1	1	1	1
	バックボード一式		9		5	1	1	1	1
	自動心臓マッサージ機		4		1	1	1	1	
	ミニスプレー消毒器		1		1				

通信指令



1. 指令概況

消防通信業務は、火災・救急・救助等の災害通報を受付し、災害発生場所の特定・災害の種別・規模に応じた効率的な部隊編成を行い、各署対し的確な出場指令及び情報伝達等を行うことにより初動体制の迅速化を構築し、災害による被害の軽減や救命率向上の一端を担っています。

2. 施設の概況

昭和59年 3月

茨城県医療端末装置を整備し運用を開始する。

平成元年 4月

消防緊急情報システムを整備し運用を開始する。

平成3年 6月

一人暮らし高齢者のために取手市緊急通報システム（受信センター）を整備し運用を開始する。

平成10年 4月

取手市地域防災行政無線を整備し運用開始する。

平成10年 9月

携帯電話からの119番通報網が整備され、常総広域消防本部（水海道市）を代表受信本部とする転送方式による受信体制が確立し運用を開始する。

平成11年 3月

茨城県防災情報ネットワークシステムの整備が完了し運用を開始する。

平成11年12月

聴覚や音声・言語障害者との119番FAX通信システムが整備され運用を開始する。

平成13年 6月

本部庁舎1階に計測震度計の設置（茨城県設置）が完了し情報伝達体制が確立された。

平成16年 3月

指令台の更新により高機能消防指令センター装置が導入され、運用を開始する。

平成17年 3月

取手市・藤代町合併により通信指令装置の一元化を図り運用する。

平成18年 3月

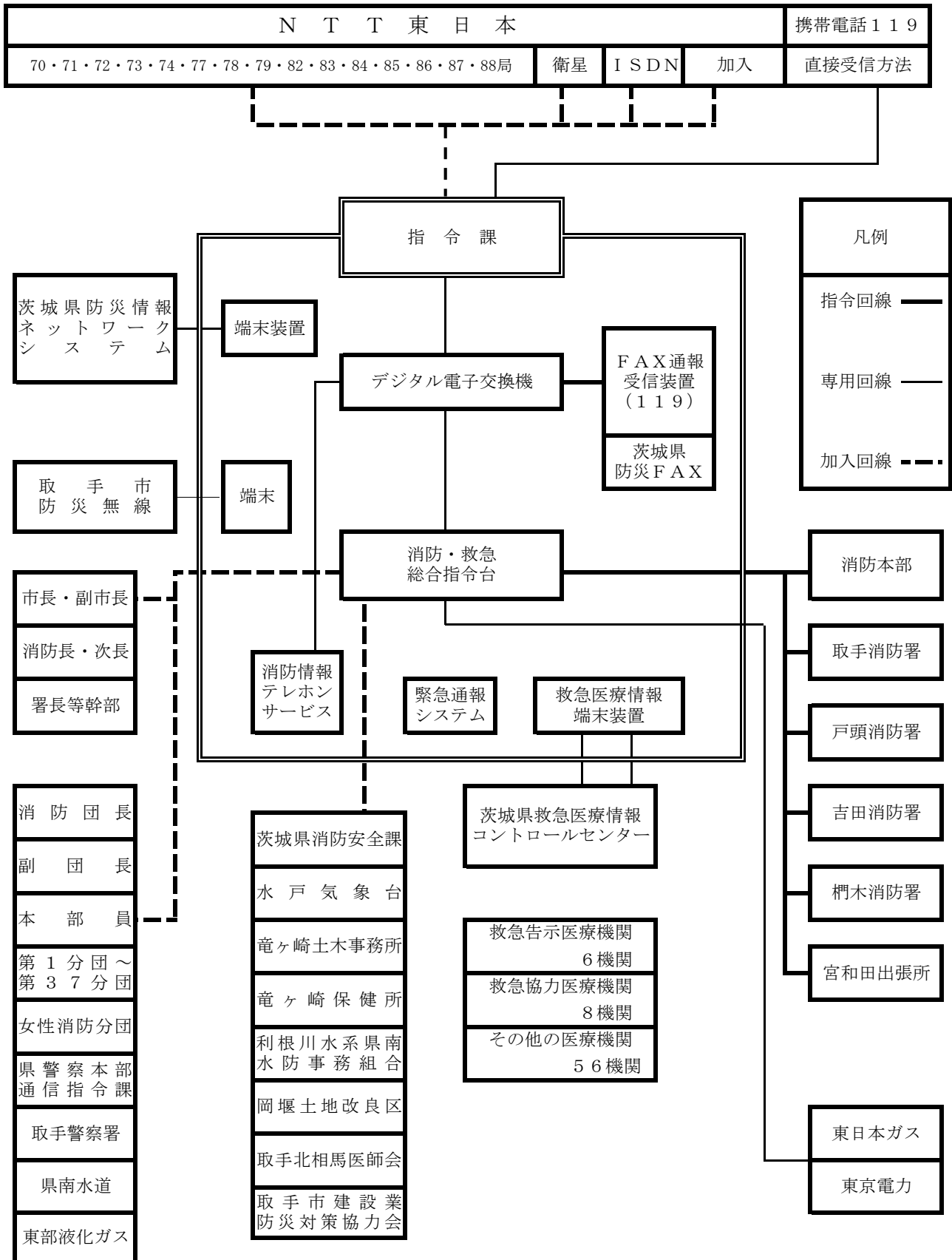
携帯電話からの119番通報網にあつては、県内を5ブロックに分け代表本部が受信している分散方式から、直接管轄消防が受信する直接受信方式に変更する。

平成21年 3月

統合型発信地表示システムを導入し、運用を開始する。

3. 消防通信

(1) 消防通信系統図



(2) 緊急通報システム

ひとり暮らしのお年寄りに対する安全の確保と不安の解消を図るため、市高齢福祉課と消防本部が協力し緊急通報システムを採用、平成3年6月よりペンダントと緊急ボタンを操作し、消防本部が受信センターとなり、内容に応じて救急車又は消防自動車の出動、あるいは近隣協力員への電話転送の仕組みで行われています。

この緊急通報システムを利用している加入者数は、平成26年12月31日現在526人
平成26年中の緊急通報で救急車が出動したのは47件です。

緊急通報システム受信状況

区分 月	受信 総数	緊急 受信	相談	誤報	正 報 内 訳				誤 報 内 訳	
					火災	救急要請	救急 搬送	不搬送	ボックス・ペンダント 電池切れ等 機器異常受信	その他 勘違い
1	41	10	6	25	2	8	8	0	2	23
2	28	7	0	21	1	6	5	1	5	16
3	26	3	7	16	1	2	1	1	2	14
4	17	3	0	14	0	3	3	0	3	11
5	18	6	0	12	3	3	3	0	2	10
6	27	5	1	21	3	2	1	1	4	17
7	22	6	1	15	0	6	4	2	1	14
8	16	4	0	12	0	4	3	1	3	9
9	25	6	0	19	0	6	5	1	4	15
10	32	8	0	24	0	8	7	1	6	18
11	31	5	0	26	1	4	3	1	5	21
12	34	5	5	24	1	4	4	0	10	14
合計	317	68	20	229	12	56	47	9	47	182

※受信総数は、緊急・相談・誤報の総数。正報内訳の火災は、火災センサーでの受信も含む。

(3) 119番受信状況（固定電話）

区分 月別	火災	救急 救助	その他 の災害	試験 通報訓練	問い合わせ	間違い	いたずら	その他	合計
1月	3	248	1	18	19	4	2	43	338
2月	3	243	0	10	20	4	2	70	352
3月	1	228	0	50	12	7	0	65	363
4月	4	204	0	18	11	13	1	54	305
5月	3	219	2	26	11	3	3	49	316
6月	1	168	0	30	18	5	0	26	248
7月	0	169	1	19	15	5	1	40	250
8月	1	170	0	13	11	2	0	12	209
9月	1	143	0	23	7	3	0	30	207
10月	4	139	5	31	15	6	1	48	249
11月	0	153	1	40	3	2	0	31	230
12月	3	203	0	27	8	3	2	25	271
合計	24	2,287	10	305	150	57	12	493	3,338

(4) 119番受信状況(携帯電話)

区分 月別	火災	救急 救助	その他 の災害	試験 通報訓練	問い合わせ	間違い	いたずら	その他	合計
1月	4	116	0	1	16	4	0	43	184
2月	3	102	1	0	13	2	0	45	166
3月	4	91	1	6	16	4	1	68	191
4月	5	80	0	3	9	7	0	108	212
5月	6	129	1	2	10	1	0	44	193
6月	1	86	1	1	8	4	0	38	139
7月	5	165	2	5	10	10	0	53	250
8月	1	158	1	1	18	5	1	54	239
9月	1	136	0	5	20	6	0	47	215
10月	2	171	2	7	18	5	4	55	264
11月	1	144	1	9	13	9	0	69	246
12月	5	191	0	7	21	9	0	67	300
合計	38	1,569	10	47	172	66	6	691	2,599

(5) 出場指令状況

(H26. 1. 1 ~ H26. 12. 31)

区 分 月	火 災				救 急	救 助				偵 察	警 戒			風 水 害	合 計
	第1	第2	第3	第4		第1	第2	第3	第4		危険 排除	ガス 漏れ	その 他		
	出場	出場	出場	出場		出場	出場	出場	出場						
1	8	0	0	0	408	2	0	0	0	1	0	1	0	0	420
2	6	2	1	0	396	4	0	0	0	2	1	1	0	0	413
3	4	0	1	0	353	3	0	0	0	0	2	0	0	0	363
4	7	1	1	0	327	4	0	0	0	0	0	0	2	0	342
5	7	0	2	0	396	5	0	0	0	0	3	0	0	0	413
6	8	0	1	0	323	1	0	0	0	0	1	0	0	2	336
7	4	0	0	0	391	2	0	0	0	0	5	0	1	0	403
8	5	0	1	0	379	5	0	0	0	0	1	0	0	0	391
9	3	0	1	0	330	7	0	0	0	2	0	0	1	0	344
10	7	0	0	0	380	5	0	0	0	0	4	0	1	8	405
11	2	0	0	0	354	4	0	0	0	0	4	0	0	0	364
12	6	1	3	0	459	7	0	0	0	0	1	0	1	0	478
合計	67	4	11	0	4,496	49	0	0	0	5	22	2	6	10	4,672
	82					49					30				

管轄外の事案については計上しない。

4. 気 象

(1) 月別気象状況

(指令課調べ)

月 別 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最多風向	北西	北西	北西	北東	南南西	東	東	南南西	北東	北東	北西	北西	北西
最大風速 m/sec	22.8	22.4	27.6	21.4	22.8	20.2	17.0	20.0	15.9	23.3	18.0	25.3	21.4
平均風速 m/sec	2.6	3.4	3.7	2.9	3.1	2.7	2.5	3.1	2.6	2.7	2.5	2.5	2.9
降雨量 mm	24.5	115.0	77.0	115.0	94.0	260.0	85.5	80.0	64.0	282.5	68.0	53.0	110.0 /月
降雨日数	5	11	9	8	11	15	13	11	10	13	10	6	10.0/月
最高気温 ℃	15.5	20.2	22.7	24.9	32.4	33.8	36.3	36.8	32.0	30.5	22.4	15.7	26.9
最低気温 ℃	-6.6	-4.7	-2.6	2.7	7.6	17.0	18.8	17.7	12.5	5.2	1.7	-4.5	5.4
平均気温 ℃	3.8	4.1	8.7	13.5	19.0	22.3	25.6	26.3	21.4	17.2	11.9	5.1	14.9
平均湿度 %	52.2	57.8	55.6	56.2	62.5	73.4	72.0	73.2	71.3	71.4	70.1	59.4	64.6

(2) 年間気象状況

最多風向		北西
平均風速	m/sec	2.9 m/sec
最大風速	m/sec	27.6 m/sec (3月30日)
総降雨量	mm	1,318.5 mm
最高気温	℃	36.8 ℃ (8月2日)
最低気温	℃	-6.6 ℃ (1月16日)
最低湿度	%	13.6 % (1月29日)

5. 無線局配置状況

(H27.4.1現在)

	基地局	移動局	携帯局
本部	5W-1	10W-2	10W-1
取手消防署		10W-8	1W-3 5W-5
戸頭消防署		10W-4	1W-2 5W-3 10W-1
吉田消防署		10W-4	1W-2 5W-3 10W-1
梶木消防署		10W-6	1W-3 10W-3
宮和田出張所		10W-1	10W-2
合計	1	25	29

救急・救助



1. 救急 署所別事故種別出場件数及び搬送人員

(H26.1.1 ~ H26.12.31)

種別 署所	急病	交通事故	一般負傷	運動競技	加害	自損行為	火災	労働災害	水難事故	自然災害	転院搬送	その他	合計
	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	
取手署	876	101	215	14	23	12	12	5	1	0	92	24	1,375
	801	103	204	14	19	11	5	5	0	0	93	9	1,264
戸頭署	642	84	149	3	5	9	1	4	2	0	90	9	998
	603	83	141	3	5	8	0	4	1	0	89	2	939
吉田署	571	53	132	3	6	8	0	5	1	0	51	19	849
	531	50	126	3	4	5	0	6	0	0	51	2	778
梶木署	504	70	127	3	1	9	0	1	0	0	55	5	775
	475	69	119	3	1	8	0	1	0	0	55	1	732
宮和田出張所	334	39	64	1	3	8	4	1	1	0	43	1	499
	311	42	61	1	3	5	0	1	0	0	43	0	467
出場件数合計	2,927	347	687	24	38	46	17	16	5	0	331	58	4,496
搬送人員合計	2,721	347	651	24	32	37	5	17	1	0	331	14	4,180

2. 曜日別月別出場件数

(H26.1.1 ~ H26.12.31)

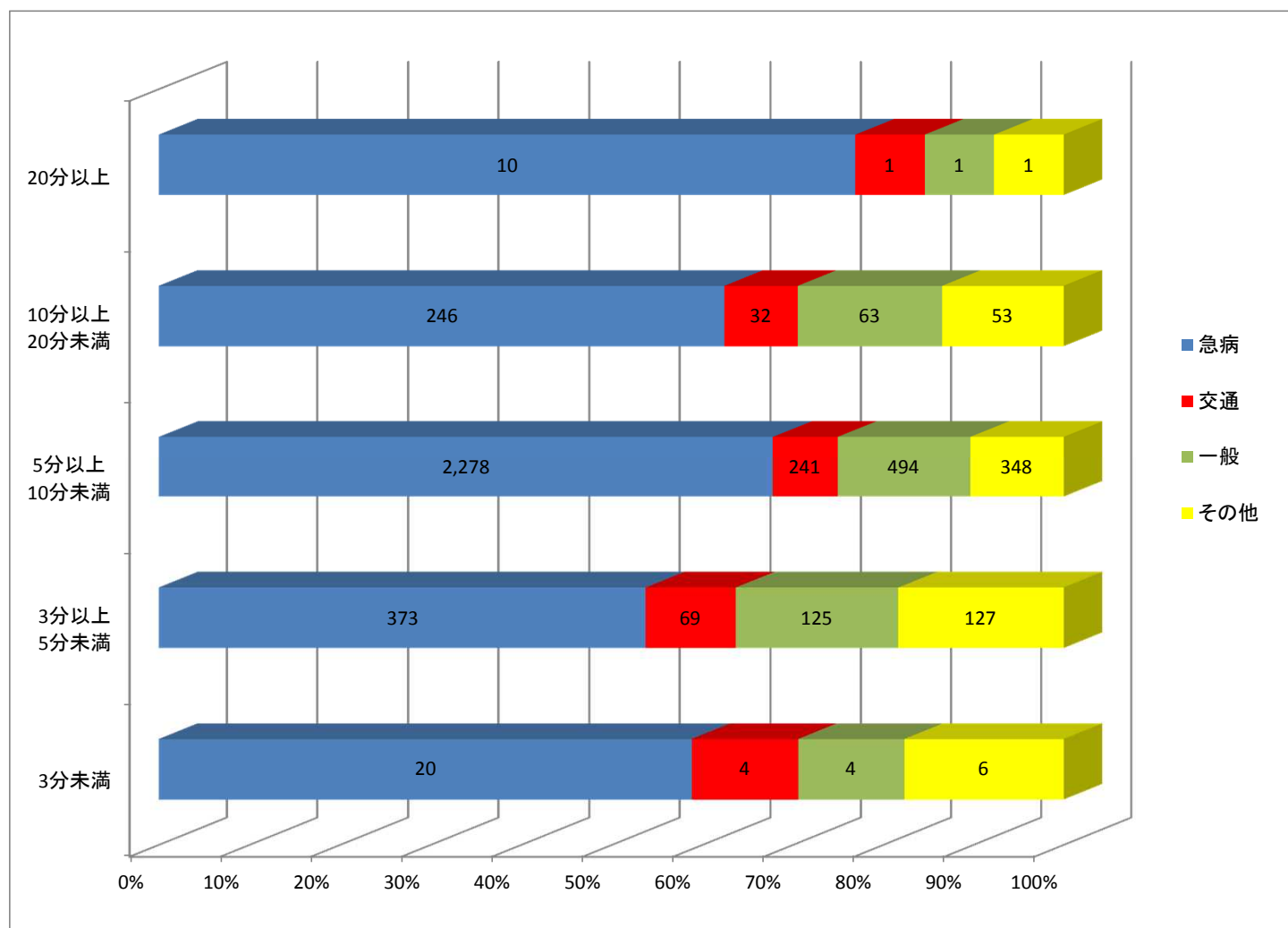
種別 曜日・月別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	
											転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他		
曜日別	月	7	0	0	41	6	3	95	4	3	422	55	0	0	12	648
	火	0	0	0	39	0	3	89	4	8	428	47	0	0	8	626
	水	2	0	1	53	0	2	114	5	5	405	59	0	0	11	657
	木	1	0	3	51	4	3	87	3	11	413	49	0	0	6	631
	金	3	0	1	59	1	1	95	0	7	429	56	0	0	7	659
	土	2	0	0	56	4	6	100	10	6	397	43	0	0	8	632
	日	2	0	0	48	1	6	107	12	6	433	22	0	0	6	643
計	17	0	5	347	16	24	687	38	46	2,927	331	0	0	58	4,496	
月別	1月	0	0	0	20	1	1	63	2	2	287	24	0	0	8	408
	2月	2	0	0	30	1	1	58	4	3	251	40	0	0	6	396
	3月	1	0	0	29	1	2	52	0	3	230	30	0	0	5	353
	4月	1	0	1	24	0	1	56	8	6	200	28	0	0	2	327
	5月	4	0	1	41	2	6	67	4	5	230	31	0	0	5	396
	6月	1	0	0	32	5	1	50	2	2	202	20	0	0	8	323
	7月	0	0	2	34	1	2	54	4	5	258	26	0	0	5	391
	8月	1	0	1	26	0	1	67	3	6	245	25	0	0	4	379
	9月	1	0	0	29	1	3	44	0	7	216	24	0	0	5	330
	10月	1	0	0	33	4	3	56	2	1	246	30	0	0	4	380
	11月	0	0	0	23	0	2	58	2	1	240	25	0	0	3	354
	12月	5	0	0	26	0	1	62	7	5	322	28	0	0	3	459
計	17	0	5	347	16	24	687	38	46	2,927	331	0	0	58	4,496	

3. 現場到着所要時間別件数

(H26. 1. 1 ~ H26. 12. 31)

時間 種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	現場到着 最短所要時間 (分)	現場到着 最長所要時間 (分)	現場到着 平均所要時間 (分)	前年比
急病	20	373	2,278	246	10	2,927	1	36	6.5	0.1
交通	4	69	241	32	1	347	1	22	6.5	-0.1
一般	4	125	494	63	1	687	1	22	6.6	0.2
その他	6	127	348	53	1	535	1	23	6.5	0.5
合計	34	694	3,361	394	13	4,496	1(最短値)	36(最長値)	6.5	0.2

※ 現場到着最長所要時間は、降雪により路面状況の悪化のため現場到着まで時間を要す。



4. 医療機関収容所要時間別件数

(H26.1.1 ~ H26.12.31)

種別	10分未満 (うち管外)	10分以上 20分未満 (うち管外)	20分以上 30分未満 (うち管外)	30分以上 60分未満 (うち管外)	60分以上 120分未満 (うち管外)	120分以上 (うち管外)	計 (うち管外)	収容最短所 要時間 (分)	収容最長所 要時間 (分)	収容平均所 要時間 (分)	前年比
急病	1 (0)	52 (0)	1,074 (9)	1,502 (294)	89 (50)	3 (3)	2,721 (356)	5	162	33.9	-0.3
交通	0	7 (0)	117 (8)	206 (55)	17 (14)	0 (0)	347 (77)	13	91	34.6	0.2
一般	0	14 (0)	211 (4)	402 (74)	23 (21)	1 (1)	651 (100)	9	161	34.7	0
その他	0	25 (1)	169 (21)	201 (104)	63 (51)	3 (3)	461 (180)	13	187	34	-4.5
合計	1 (0)	98 (1)	1,571 (42)	2,311 (527)	192 (136)	7 (7)	4,180 (713)	5	187	34.3	-1.1

平成25年中全国平均 39.3分

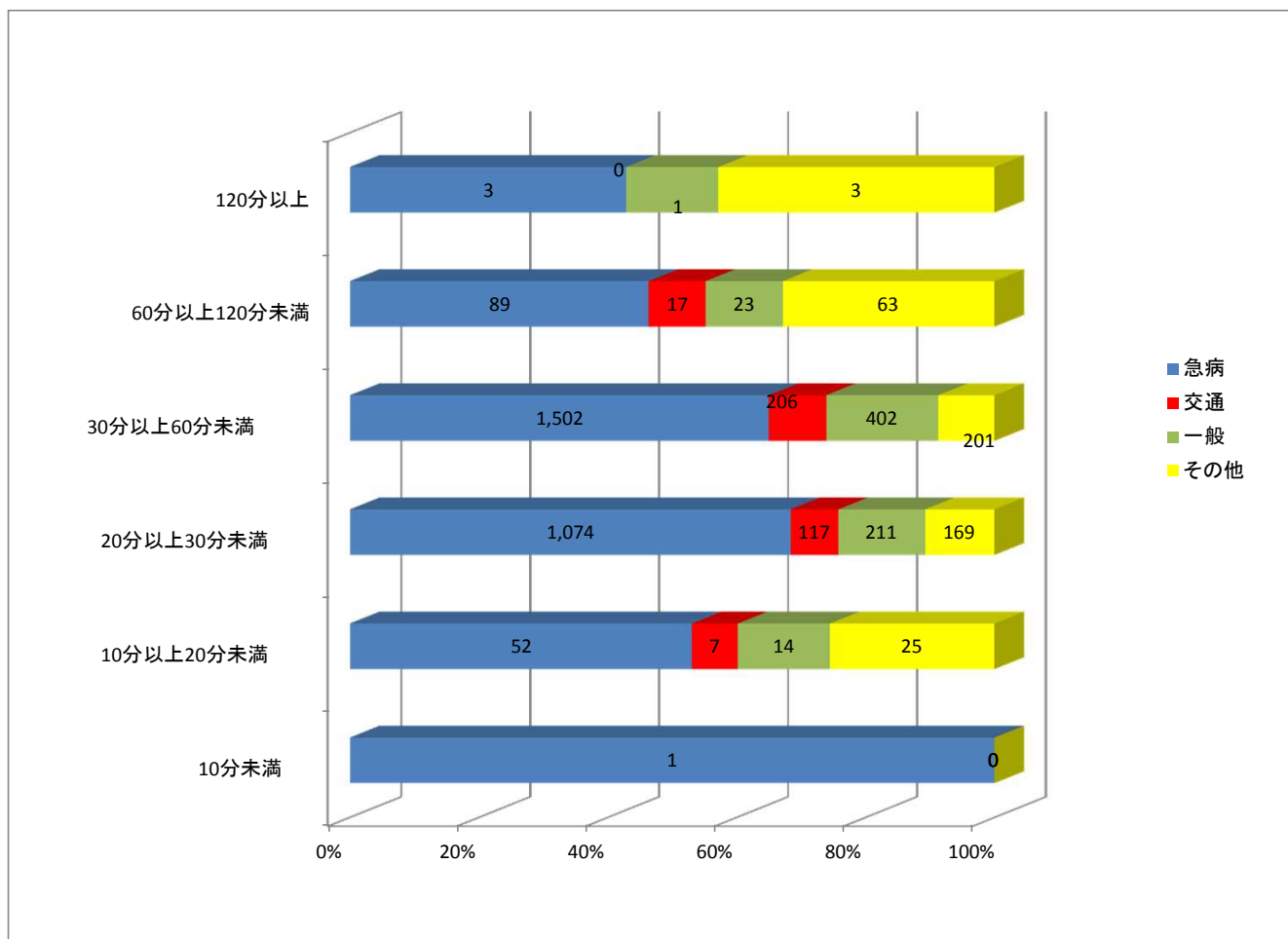
※ 種別の【その他】については、火災・自然災害・水難・自損・労災・加害・転院等が含まれる。

※ 本票は、覚知から傷病者を医療機関等へ収容するまでに要した時間区分の件数を記載。

※ 平成25年 全国現場到着所要時間平均 8.5分 【平成15年比2.2分延伸】

※ 平成25年 全国病院収容所要時間平均 39.3分 【平成15年比9.9分延伸】

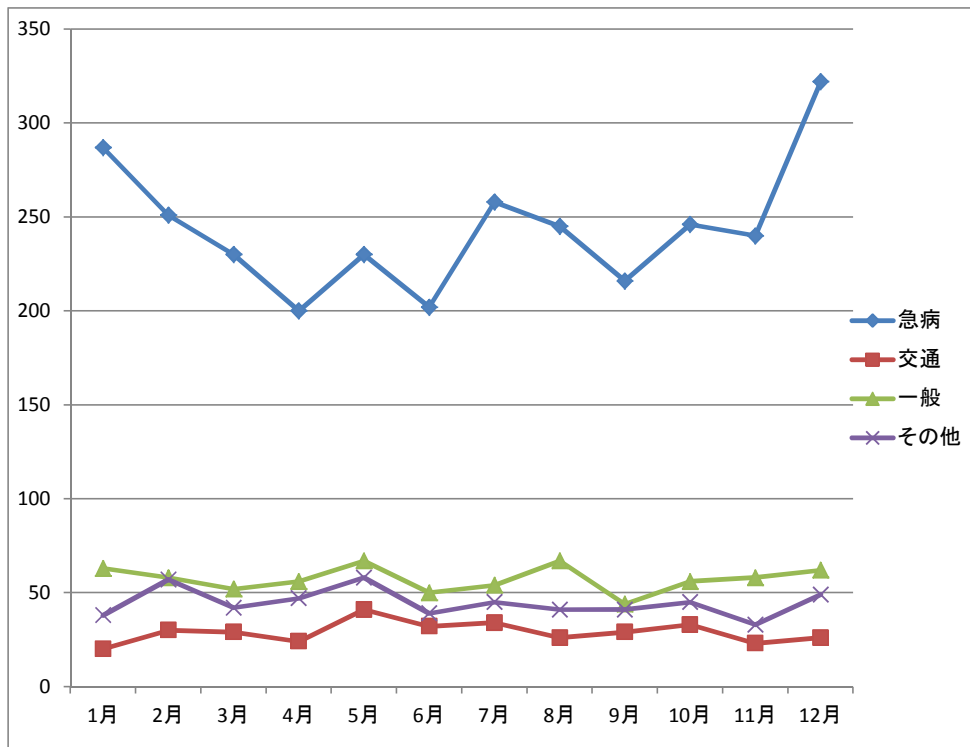
※ 収容最長時間については、全て転送により管外の医療機関へ収容したもの。



5. 月別出場件数

(H26. 1. 1 ~ H26. 12. 31)

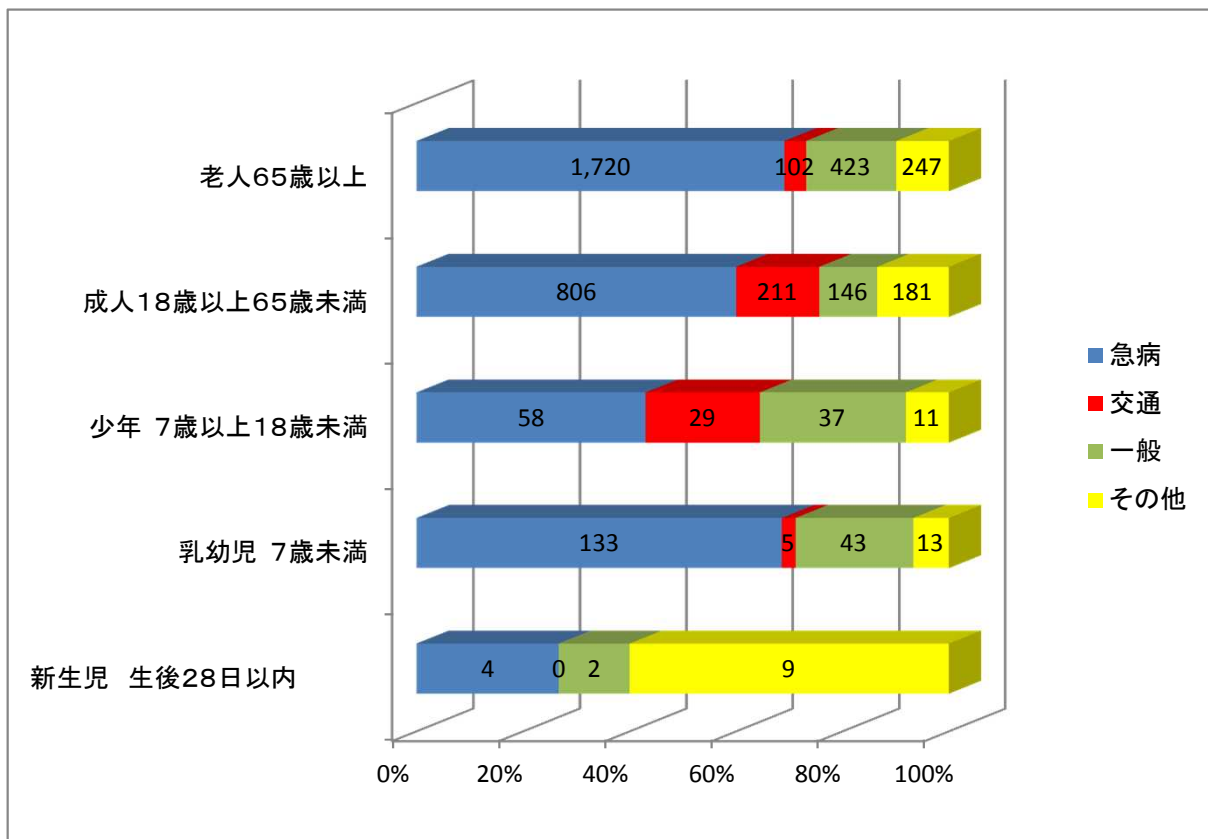
月 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年比
急病	287	251	230	200	230	202	258	245	216	246	240	322	2,927	-37
交通	20	30	29	24	41	32	34	26	29	33	23	26	347	-51
一般	63	58	52	56	67	50	54	67	44	56	58	62	687	10
その他	38	57	42	47	58	39	45	41	41	45	33	49	535	-4
合計	408	396	353	327	396	323	391	379	330	380	354	459	4,496	-82



6. 事故種別別年齢別搬送人員

(H26. 1. 1 ~ H26. 12. 31)

種別 \ 年齢	新生児 生後28日 以内	乳幼児 7歳未満	少年 7歳 以上 18歳 未満	成人 18歳 以上 65歳 未満	老人 65歳以 上	合計	前年比
急病	4	133	58	806	1,720	2,721	-31
交通	0	5	29	211	102	347	-45
一般	2	43	37	146	423	651	23
その他	9	13	11	181	247	461	7
合計	15	194	135	1,344	2,492	4,180	-46



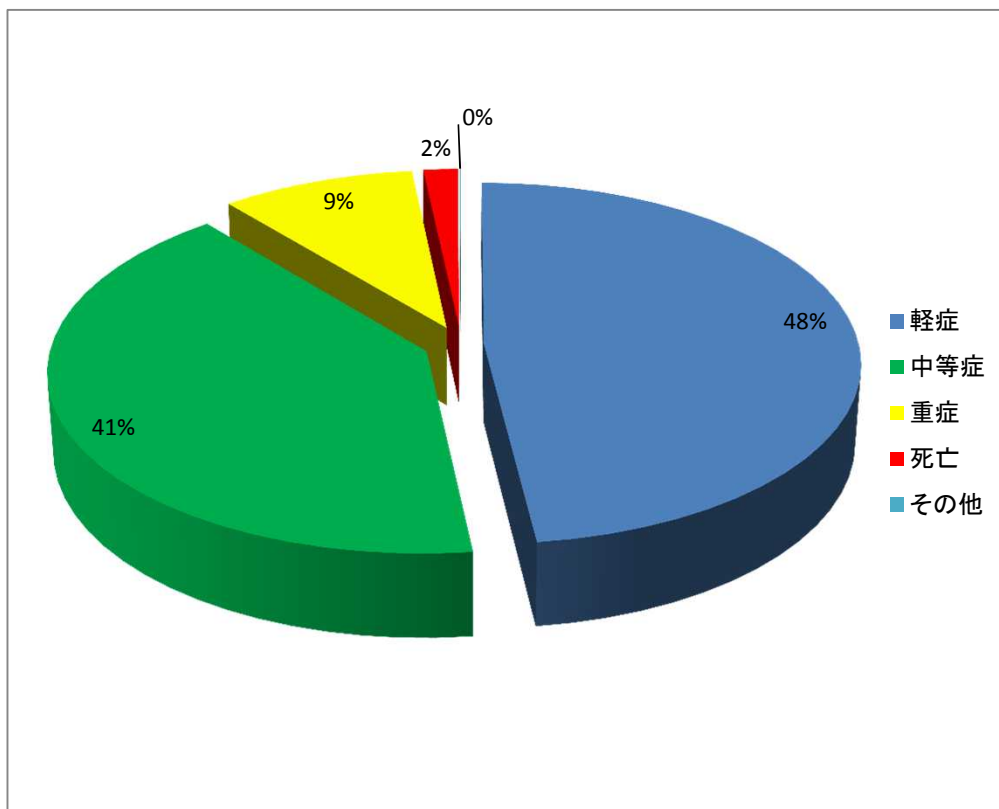
7. 程度別搬送人員

(H26. 1. 1 ~ H26. 12. 31)

程度 人員	軽症	中等症	重症	死亡	その他	合計	前年比
搬送人員	2,010	1,708	390	69	3	4,180	-49
比率(%)	48	41	9	2	0	100	

※ 程度は、初診時における医師の診断に基づき、次のように分類した。

1. 死亡とは、初診時において死亡が確認されたもの。
2. 重症とは、傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
3. 中等症とは、傷病程度が重症または軽傷以外のものをいう。
4. 軽傷とは、傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。
5. その他とは、医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、ならびにその他の場所へ搬送したものをいう。



8. 救急隊員が行った応急処置件数

(H26.1.1 ~ H26.12.31)

事故種別	応急処置 傷病程度	応急処置 対象人員	止血	固定	人工 呼吸	心マ		心肺蘇生		酸素 吸入	気道確保				保温	被 覆	在宅療法継続			除細動	静脈路 確保 (輸液) ※I	薬剤 投与 ※II	その他の 応急処置		
						うち 自動	うち 自動	※1	※2		※3	※4	※A	※B			※C								
急病	死亡	58	0	2	34	5	4	50	37	26	54	3	1	11	2	8	0	0	0	0	0	17	7	6	4
	重症	224	1	0	19	3	3	25	17	140	46	2	0	4	1	93	1	1	1	0	0	6	5	0	57
	中等症	1,170	0	13	2	0	0	0	0	377	12	0	0	0	0	532	10	3	0	1	2	1	3	2	362
	軽傷	1,268	12	12	0	0	0	0	0	152	6	0	0	0	0	567	12	1	0	0	1	0	1	1	424
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,721	13	27	55	8	7	75	54	695	118	5	1	15	3	1,200	23	5	1	1	3	24	16	9	847
交通事故	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症	19	1	17	1	0	0	1	0	14	2	0	0	0	0	10	5	0	0	0	0	0	0	0	5
	中等症	74	4	62	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	29	11	0	0	0	0	0	0	0	22
	軽傷	254	9	182	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	66	31	0	0	0	0	0	0	0	56
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	347	14	261	1	0	0	1	0	41	2	0	0	0	0	105	47	0	0	0	0	0	0	0	0
一般負傷	死亡	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	重症	25	0	15	0	0	0	3	1	10	8	0	1	0	1	18	0	0	0	0	0	1	1	1	6
	中等症	229	12	82	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	90	30	0	0	0	0	0	0	0	67
	軽傷	395	60	77	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	118	111	0	0	0	0	0	0	0	103
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	651	72	174	0	0	0	4	2	43	9	0	1	0	2	228	141	0	0	0	0	2	2	1	177
上記以外	死亡	10	0	2	5	0	0	10	6	2	10	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1
	重症	122	0	5	9	0	0	1	0	68	10	0	0	1	2	59	4	3	3	0	0	0	0	6	37
	中等症	235	3	9	0	0	0	0	0	73	3	0	0	0	0	100	2	2	1	1	0	0	0	0	70
	軽傷	93	5	12	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	24	11	1	1	0	0	0	0	0	26
	その他	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	461	8	28	14	0	0	12	7	153	23	2	0	0	2	184	17	6	5	1	0	1	1	6	134
合計	死亡	69	0	4	39	5	4	61	44	29	65	5	1	12	3	10	0	0	0	0	0	19	9	6	5
	重症	390	2	37	29	3	3	30	18	232	66	2	1	5	4	180	10	4	4	0	0	7	6	7	105
	中等症	1,708	19	166	2	0	0	0	0	495	15	0	0	0	0	751	53	5	1	2	2	1	3	2	521
	軽傷	2,010	86	283	0	0	0	0	0	176	6	0	0	0	0	775	165	2	1	0	1	0	1	1	609
	その他	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	4,180	107	490	70	8	7	92	63	932	152	7	2	17	7	1,717	228	11	6	2	3	27	19	16	1,241

(注) 1 本表は、傷病者を医療機関等へ搬送するまでの間に救急隊員が行った応急処置について、その処置の対象となった傷病者の数及び処置件数を記載した。

2 気道確保欄の※1には、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数を内数として記載した。
 ※2には、喉頭鏡・鉗子等を使用して異物除去を行った件数を内数として記載した。
 ※3には、救急救命士がラリゲアルマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載した。
 ※4には、救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数を内数として記載した。

(注) 3 在宅療法継続欄の※Aには、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数を内数として記載した。

※Bには、気管切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置を行った件数を内数として記載した。
 ※Cには、※A・※B以外の在宅療法継続中の傷病者に対して応急処置を行った件数を内数として記載した。

(注) 4 薬剤投与欄の※Iには、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液を行った件数も含む件数を内数として記載した。
 ※IIには、アドレナリン・ブドウ糖・エピベンを投与した件数を内数として記載した。

9. 事故種別別収容医療機関

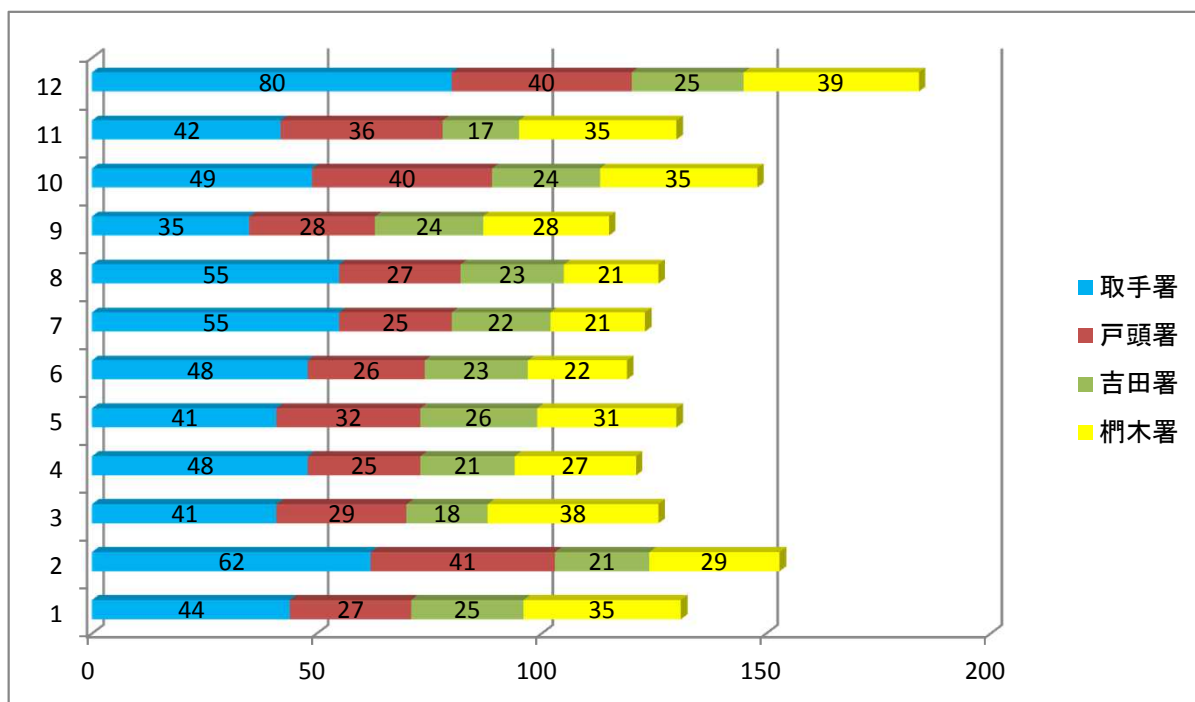
(H26. 1. 1 ~ H26. 12. 31)

告示の別等	事故種別等		急病		交通事故		一般負傷		その他		計		
	区分		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		
救急医療 機 関	国立		29	29	0	0	1	1	21	21	51	51	
	公立		21	21	2	2	4	4	4	4	31	31	
	公的		1,616	19	196	0	364	6	191	20	2,367	45	
	私的	病院		1,024	282	147	75	275	86	237	131	1,683	574
		診療所		13	0	2	0	0	0	2	1	17	1
	計		2,703	351	347	77	644	97	455	177	4,149	702	
その他の 医療機関	国立		0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	
	公立		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	公的		0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	
	私的	病院		10	4	0	0	2	0	2	1	16	13
		診療所		8	1	0	0	4	2	0	0	12	3
	計		18	5	0	0	6	2	4	2	30	17	
計	国立		29	29	0	0	1	1	22	22	52	52	
	公立		21	21	2	2	4	4	4	4	31	31	
	公的		1,616	19	196	0	364	6	192	20	2,368	45	
	私的	病院		1,034	286	147	75	277	86	239	132	1697	579
		診療所		21	1	2	0	4	2	2	1	29	4
	計		2,721	356	347	77	650	99	459	179	4,177	711	
その他 の場所	接骨院等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	1	1	2	1	3	2	
	計		0	0	0	0	1	1	2	1	3	2	
合計			2,721	356	347	77	651	100	461	180	4,180	713	

10. 各署月別ペア出場件数

(H26. 1. 1 ~ H26. 12. 31)

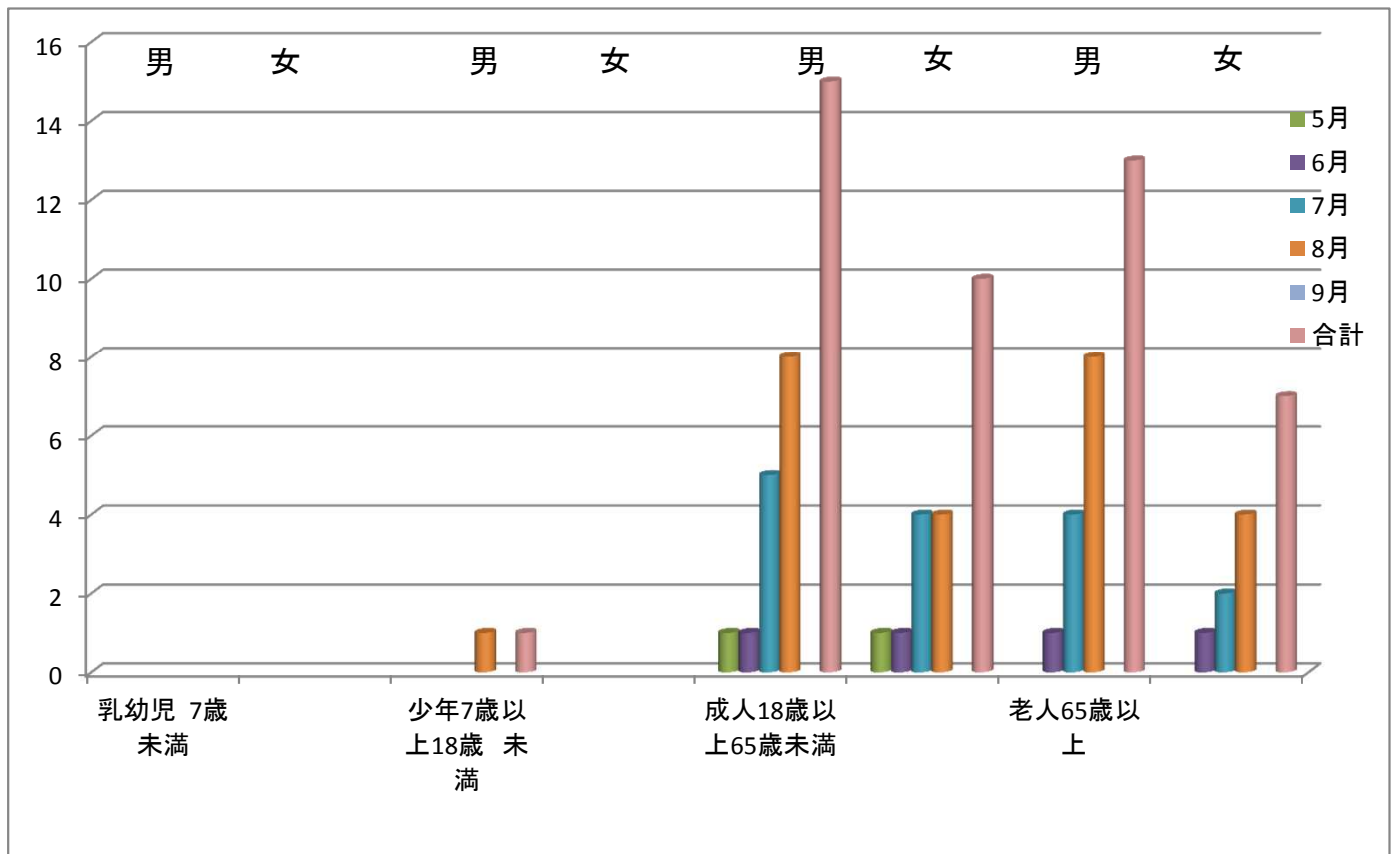
署所 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年比
取手署	44	62	41	48	41	48	55	55	35	49	42	80	600	122
戸頭署	27	41	29	25	32	26	25	27	28	40	36	40	376	103
吉田署	25	21	18	21	26	23	22	23	24	24	17	25	269	38
櫛木署	35	29	38	27	31	22	21	21	28	35	35	39	361	91
計	131	153	126	121	130	119	123	126	115	148	130	184	1,606	354



11. 平成26年5月19日から平成26年9月30日までの熱中症搬送件数

内訳 月	年 齢 別								程 度				合 計
	乳幼児 7歳未満		少年7歳以 上18歳 未満		成人18歳 以上65歳 未満		老人65歳 以上		軽症	中等症	重症	死亡	
	男	女	男	女	男	女	男	女	(入院なし)	(入院3週 間未満)	(入院3週間 以上)		
5月					1	1			2				2
6月					1	1	1	1	2	2			4
7月					5	4	4	2	4	9	2		15
8月			1		8	4	8	4	12	13			25
9月													
合計			1		15	10	13	7	20	24	2		46

11-2 月別発生件数



12. 救助出場・活動件数

(H26. 1. 1 ~ H26. 12. 31)

事故種別 件数	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	計
	建物	建物以外									
出動件数	10	1	12	4	0	1	0	0	0	20	48
活動件数	0	0	9	4	2	2	4	1	0	9	31

※ 活動件数とは、消防機関が何らかの救助活動を行った件数

12-2 事故種別救助人員・車両別搬送人員数

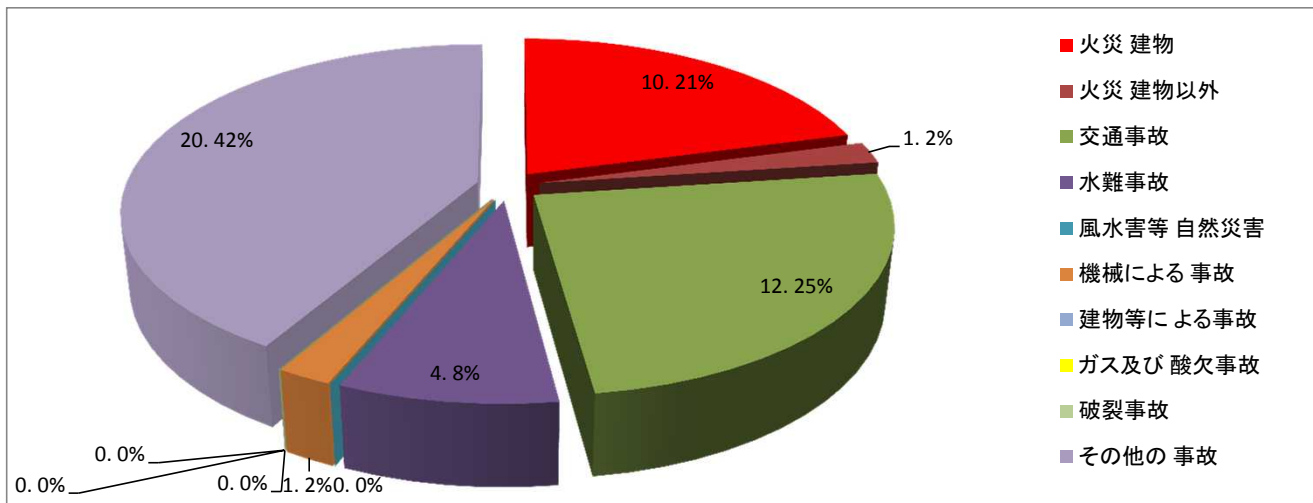
(H26. 1. 1 ~ H26. 12. 31)

事故種別 救助人員 搬送車両区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	計	
	建物	建物以外										
救助人員	0	0	8	1	0	0	0	0	0	9	18	
搬送車両等の内訳	救急自動車	0	0	8	1	0	0	0	0	0	3	12
	ヘリコプター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消防機関その他の車両	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消防機関以外の車両	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	0	0	9	1	0	0	0	0	0	3	13

※救助人員は、消防機関と他機関が共同して救助活動中、他の機関が救助した人員を含むものである。

12-3 救助出場件数

(H26. 1. 1 ~ H26. 12. 31)



消防関係団体



1. 消防関係団体

(H27.4.1現在)

【防火安全協会】

団 体 名	設 立 年 月 日	会 員 数 (事業所)
取手市防火安全協会	平成17年4月1日	222

【消防友の会】

団 体 名	設 立 年 月 日	会 員 数
取手市消防友の会	昭和54年9月14日	58

【幼年少年婦人防火委員会】

団 体 名	設 立 年 月 日	クラブ数	クラブ員数
取手市幼年消防クラブ	昭和60年3月1日	27	1,455
取手市婦人防火クラブ	平成4年7月29日	15	231
取手市少年消防クラブ	平成8年1月1日	15	2,429

取 手 市 民 憲 章

わたくしたちは、利根川の豊かな流れと小貝川の清流、太陽あふれる広い空、澄んだ空気に恵まれ、歴史と伝統にはぐくまれた取手市民です。

わたくしたちは、取手をふるさとにもつことを誇りとし、みんなが心をひとつにして、明るく住みよい文化の薫るまちを築くため、明日への願いをこめて市民憲章を定めます。

わたくしたちは、

1. 自然を愛し、水と緑をまもり、やさしい環境をつくります。
2. のびやかな心と、じょうぶな体をつくり、教養を高めます。
3. 力を合わせ、助け合い、思いやりをもち、人の和を広げます。
4. 家庭を大切にし、きまりをまもり、仕事や勉強にはげみます。
5. いつも平和を願い、文化芸術と伝統を大切にし、夢と希望のあるまちをつくり
ます。

制定 平成17年10月1日

平成26年版 消防年報

発行 平成27年7月

編集 取手市井野1264-1

取手市消防本部 総務課

TEL 0297-74-1479

E-mail : torisyo@city.toride.ibaraki.jp